

令和6年度 採択検討委員会

議事録

令和7年度使用教科用図書採択検討委員会（第1回）議事録

日時 令和6年（2024年）5月10日（金）15時45分～16時15分

場所 横須賀市教育研究所 第1研修室

1 開会

（事務局： ）

これより令和7年度使用教科用図書採択検討委員会を行います。司会を務めます教育指導課の事務局： です。どうぞよろしくお願いいたします。

本日、委員18名中17名の方にご出席いただいております。採択検討委員会条例第4条に基づき、会議は有効に成立したことをご報告申し上げます。

本会は、採択決定後、会議録が公開されます。正確な記録を残すために、本日の内容を録音させていただきます。ご承知いただけますでしょうか。ありがとうございます。では、録音させていただきます。

2 委嘱

（事務局： ）

ただいまより、委員の委嘱を行います。

本来であれば教育長より委嘱させていただくところですが、他の業務と重なっており本日欠席のため、学校教育部長から委嘱書及び任命書をお渡しいたします。

お名前をお呼びしますので、その場でご起立ください。

【名簿順に委嘱及び任命】

（事務局： ）

学校教育部長からご挨拶を申し上げます。

（学校教育部長： ）

この委員会は、中学校では令和7年度から4年間、高等学校、特別支

援教育では令和7年度に使用する教科用図書採択にかかわる調査結果について、ご審議いただくこととなります。お忙しい中、教科用図書採択検討委員会の委員をお引き受けいただいたことに、厚くお礼を申し上げます。

5月8日で新型コロナウイルス感染症の分類がインフルエンザと同じ5類に代わり、ちょうど1年が経ちました。学校をはじめ、様々な活動がコロナ禍前の状況に戻りつつあるのではないかと思います。一方で、このコロナ禍を経て、世界や日本を見ても大きく社会が変化した、もしくは変化しつつあると認識しています。特に、予測困難な時代であるというふう言われているところですが、子どもたちがそうした状況を乗り越え、そして、未来に向かって進んでいく力を学校教育においても育んでいくことが求められていると考えています。

横須賀市では、令和4年度から8年間、令和11年度までを期間として、「横須賀市教育基本計画」、これは教育基本法に基づき、各自治体でつくるものですが、その中で、「あなたが好き 私が好き 横須賀が好きと誇れる人づくり」という、横須賀が目指す教育の姿というものを掲げて、各学校それから教育委員会において様々な取組を進めているという状況です。教科書は、学校で使用する主たる教材ということで学校授業や家庭での学習に使うという、一番中心となる教材でございます。

少し、私のことをお話しさせていただくと、文部科学省に在籍していた頃、教科書検定事務を担当していました。教科書検定について、質の保証という観点で、学説や客観的な資料に基づいてのチェック、それから学習指導要領に基づいてのチェックという形で審議を行うわけですが、実際に児童生徒が、あるいは学校の先生方が使う段階で教科書を選ぶ作業は、各自治体での採択に委ねられています。委員の皆様におかれましては、横須賀市の学校で使用する主たる教材である「教科書」が、子どもたちにとって、そして学校にとって、実際に指導していく教員にとってよりよいものが採択されるように皆様のお力をお借りしたいと思っております。

お忙しい中、法令では8月末までに国に報告することとされていますので、非常に短い期間に様々な形でご協力いただくことになるわけですが、改めて皆様のお力をお借りしたいということをもちまして、私からのあいさつとさせていただきます。ご協力のほど、よろしくお願いいた

します。

(事務局：)

ここで、委員の皆様一言ずつご挨拶いただきます。机上の冊子 11 ページの名簿を合わせてごらんください。それでは、お一人ずつその場にお立ちいただき、お名前とご所属、また一言ありましたらお願いいたします。

【名簿順にあいさつ】

3 委員長選出

(事務局：)

皆様、ありがとうございました。

続きまして委員長を選出していただきます。教科用図書採択検討委員会条例第3条によりますと、委員会に委員長を置き、委員が互選することになっております。どなたか立候補またはご推薦をお願いいたします。

(委員)

中学校部会の 委員を推薦いたします。理由としましては、本年度は中学校の4年に一度の採択替えが行われますので、公平かつ適正に会を運営していただけたらと思いますので、 委員が適任だと思いますが、いかがでしょうか。

(事務局：)

推薦いただきましたが、 委員いかがでしょうか。

(委員)

お引き受けいたします。

(事務局：)

ご承認いただけましたら拍手をお願いいたします。

【拍手多数】

それでは委員の皆様方の互選によりまして、委員が委員長に選出されました。委員長、一言お願いいたします。

(委員長)

どうぞよろしくをお願いいたします。

(事務局：)

どうぞよろしくをお願いいたします。また、教科用図書採択検討委員会条例により、委員長が職務代理者を指名することとなっております。委員長、職務代理者のご指名をお願いいたします。

(委員長)

委員に職務代理者をお願いしたいと思います。

(事務局：)

委員、職務代理者のご指名がありましたかよろしいでしょうか。

(委員)

お引き受けいたします。

(事務局：)

それでは、お二人どうぞよろしくをお願いいたします。

4 諮問

(事務局：)

続きまして本委員会でお話いただく内容についての諮問書を、学校教育部長から委員長にお渡しいたします。委員は、前へお願いいたします。

【学校教育部長が諮問書を読み上げ、委員長にお渡しする】

(事務局：)

引き続き第1回採択検討委員会を行います。条例第3条の規定により、ここからは進行を委員長の 校長先生にお願いしまして、進めていただきます。 委員長よろしく申し上げます。

5 協議（確認事項）

(委員長)

それでは、「5 協議」に入ります。なお、本日は確認事項のみとなります。(1)「令和7年度使用教科用図書採択基本方針」について、事務局より説明をお願いします。

(事務局：)

令和7年度使用教科用図書採択基本方針について説明いたします。1ページ・資料1をご覧ください。

令和6年4月18日の教育委員会定例会で令和7年度使用教科用図書採択基本方針が決定されました。その内容について確認します。教科用図書の採択に当たっては、「1 公正かつ適正を期し、すぐれたものを採択する」、「2 児童生徒及び学校、その他の特性を考慮して採択する」、「3 教科用図書については、次の委員会等の研究調査の結果を活用して採択する」となっております。

3の「次の委員会等」とは、資料にあるとおり、(1)中学校部会、(2)高等学校部会、(3)特別支援教育部会です。

高等学校と特別支援教育については毎年採択を行っていますが、本年度は、中学校の採択替えが加わります。

この3つの部会について採択検討委員会ならびに調査事務局調査部会を設置することになります。本日は、採択検討委員会の委員の皆様にお集まりいただいております。

(委員長)

ただいま事務局から説明がありました内容について、ご質問等がありましたらご発言をお願いします。

【質問なし】

(委員長)

次に、(2)「教科用図書採択検討委員会について」、事務局より説明をお願いします。

(事務局：)

採択検討委員会ならびに調査事務局について説明させていただきます。
2ページ・資料2をご覧ください。

採択検討委員会とは、条例の1にございますように、市立学校において使用する教科用図書の採択に関し、教育委員会の諮問に応ずるため、地方自治法第138条4第3項の規定による附属機関として設置されております。

第7条に、「専門部会長をおき委員が互選する」とありますので、部会長の決定をお願いします。

(委員長)

どなたか立候補、推薦される方はいらっしゃいますか。いらっしゃらないようですので、各専門部会の校長代表で部会長を務めたいと思いますがいかがでしょうか。承認いただける方は拍手をお願いいたします。

【拍手多数】

それでは、中学校専門部会は私、 、高等学校専門部会は 委員、特別支援教育専門部会は、 委員が部会長を務めます。どうぞよろしくをお願いいたします。

(委員長)

次に、(3)「教科用図書採択事務取扱要綱について」、事務局より説明をお願いします。

(事務局：)

4ページ・資料3をご覧ください。

要綱の第2条に「教科用図書採択検討委員会への諮問に際し必要な検討及び資料の作成のため、教育委員会は教科用図書調査事務局を設置し、別表（6ページ）に掲げる区分・人数の教員による調査部会及び事務部会を構成する」とされています。6ページに記載がございます。

調査部会については、採択替えのない校種、及び新たな図書の申請がなかった場合は設置しないこととなりますので、本年度、小学校の調査部会の設置はありません。

要綱第2条の4にありますように、「調査部会においては、検討委員会における適正な教科用図書の採択につながるべく専門的事項の調査研究及び資料の作成」を行います。

事務部会については、第2条の5にありますように、「検討委員会における適正な教科用図書の採択につながるべく、各学校で行った教科用図書の調査研究に関する資料の作成及び教科書需要数に関する報告」を行います。こちらは、小・中・高・ろう・養護学校全ての学校の教科書事務担当者から構成されております。

この採択検討委員会と調査事務局 調査部会・事務部会は、横須賀市における教科書採択審議の中心的役割を担っています。それだけ、責任も重く、この委員会の委員を委嘱されました皆様は、公正な採択確保の点から、現在は秘密扱いとなっております。万一お名前等が漏れるようなことがありますと、教科書会社等からの接触が考えられ、公正な採択に支障を生じるおそれがありますので、くれぐれもこの点へのご配慮をお願いいたします。

（委員長）

ただいま事務局から説明がありました内容について、ご質問等がありましたらご発言をお願いします。

【質問なし】

（委員長）

次に、(4)「採択の仕組みと採択関係日程について」、事務局より説明をお願いします。

(事務局：)

9 ページ資料 5 をご覧ください。

先ほどお話しましたように、4 月 18 日の教育委員会定例会で基本方針が決定され、「諮問」として採択検討依頼が、採択検討委員会においてきたこととなります。

本日、5 月 10 日（金）が第 1 回採択検討委員会です。これをもって、調査部会に調査依頼をされ、今後各調査部会が開催され調査研究が行われます。

5 月 31 日（金）には事務部会が開かれ、需要数報告と調査・評価表の提出の依頼が行われます。

6 月 14 日（金）から 27 日（木）にかけて、令和 7 年度使用教科用図書展示会を開催します。展示は、南図書館及び産業交流プラザで行います。展示時間は記載のとおりですが、土日も開催し、学校関係者並びに保護者、市民の皆様幅広く閲覧していただけるよう配慮しております。11 ページ資料 7 をご覧ください。

次に、10 ページ資料 6 にある「教科書編修趣意書」もご参考いただくことで、教科書の内容についてご理解いただきやすくなります。

6 月 28 日（金）には調査・評価表の提出となっております。これを受け、事務局から提出された資料を採択検討委員に提出します。採択検討委員のみなさまには 7 月上旬に送付予定です。

採択検討委員の皆様は、次回 7 月 17 日（水）の採択検討委員会までに、その資料を読み込んできていただきます。それをもとに審議をし、教育委員会に提出する答申内容が決定されます。8 月 15 日（木）の教育委員会において答申し、それをもとに審議がなされ、令和 7 年度使用教科用図書が決定されるということになります。

教育委員会の決定までは、この日程につきましては、公正確保の点から取扱いには、注意をお願いいたします。

そして、8 月の教育委員会での決定をもちまして、この採択にかかわる全ての情報が公開になります。会議録、委員名簿、調査・評価表などが随時公開されますが、もちろん委員の皆様お一人お一人に採択についてのお問い合わせや責任が及ぶことにならないよう配慮いたします。

(委員長)

ただいま事務局から説明がありました内容について、ご質問等がありましたらご発言をお願いします。

【質問なし】

(委員長)

確認事項は以上です。全体を通してご質問やご意見はございますか。それでは、質問もないようですので、ここで事務局に進行をお返しします。

6 連絡事項

(事務局：)

最後に事務局から事務連絡をいたします。3点ございます。

1点目、配布資料についてです。今回お配りした資料と今後お送りする資料については、お荷物になり大変申し訳ありませんが、次回の採択検討委員会の際にお持ちください。使用后、こちらで回収し、一括して処分いたします。

2点目、交通費等の支払いについてです。この業務に関する交通費等は、ご指定の口座へ振り込まさせていただきます。お手元にお配りした口座振り込み依頼及び教職員以外の方はマイナンバーに関する書類を次回会議（7月17日）にお持ちください。なお、マイナンバー関係書類に関しては、書類が必要な方にのみ配布いたしております。

3点目、資料の送付先についてです。今後送付させていただく資料は、教職員の皆様には職場へ、それ以外の皆様には、本会のご案内を送付したご住所へ送らせていただく予定です。送付先の変更を希望される方がいらっしゃいましたら、この会終了後、お声かけください。連絡事項は以上です。

7 閉 会

(事務局：)

以上で、令和7年度使用教科用図書採択検討委員会を終了いたします。

令和7年度使用教科用図書採択検討委員会<中学校専門部会>議事録

日時 令和6年(2024年)7月17日(水)15時00分~16時20分

場所 横須賀市教育研究所 第1研修室

1 開 会

(事務局:)

これより、令和7年度使用教科用図書採択検討委員会 中学校専門部会をはじめます。本日は大変お忙しい中ご出席いただき、ありがとうございます。

この会議は「教科用図書採択検討委員会条例」第4条の規則に従い、半数以上の委員の出席により成立いたします。本日は18名中16名の出席をいただいておりますので成立いたします。

また、本会は、採択決定後、会議録が公開されます。正確な記録を残すために、本日の内容を録音させていただきます。ご承知いただけますでしょうか。ありがとうございます。では、録音させていただきます。

2 教育委員会事務局挨拶

(事務局:)

教育委員会事務局教育指導課長 よりご挨拶いたします。

(教育指導課長:)

お忙しいところ、第2回採択検討委員会にご出席いただき、ありがとうございます。本日の会議内容については、後ほど事務局から詳しく説明いたしますが、8月の教育委員会臨時会にて答申される調査報告資料について、皆様にご審議いただきます。

中学校部会の皆様には、各者の特長をつかみ、また横須賀の中学生に最もふさわしい教科書という視点で調査することは大変なご苦勞であったのではと思います。改めまして調査部会員、事務部会員の皆様のご尽力に心から感謝申し上げます。

また、第1回の会において採択基本方針の確認をいたしましたでしたが、再度、公正確保と綿密な調査に基づく採択原案作成へのお力添えをお願いいたしまして、教育委員会からの挨拶といたします。

3 専門部会長 挨拶

(事務局：)

続いて、部会長からご挨拶をいただきます。

(部会長)

本日は、令和7年度使用教科用図書採択検討委員会中学校専門部会に、ご多用な中お集まりいただき誠にありがとうございます。

また、これまで調査専門部会で調査いただいた先生方にもこの場を借りて改めてお礼申し上げます。

横須賀の子どもたちが、自らの学びを調整したり、あきらめずに粘り強く学ぼうとしたりして、この変化が激しく、予測困難な時代においても通用する「確かな学力」を身に付けられるような教科書を採択できるよう、有意義な会にしたいと思っておりますので、ご協力よろしく願いいたします。

4 調査業務及び経過報告について

(事務局：)

では、本日までの経過を報告いたします。

5月10日に行われました採択検討委員会を受け、調査部会の先生方に令和7年度使用中学校教科用図書に目を通していただき、専門的な見地から調査・研究をしていただきました。その中で、公正かつ適正を期し、横須賀の生徒にあったものを推薦していただき、それらをまとめたものがこの資料です。

また、各校の先生方には、6月14日から開催された教科用図書展示会に足を運んでいただき、すべての教科書について調査・評価をしていただきました。

本日は、各教科調査部員の調査・評価結果、各学校の先生方の調査・評価結果をもとに、来年度から4年間使用する教科書採択のための調査報告を作成していただきます。

なお、調査・評価表にある観点「(カ) その他」についてですが、各教科の調査部会の方には、デジタルコンテンツについて、生徒にとってわかりやすく理解が深まる内容になっているかという観点で調査をしていただいております。ABCの評価もしていただいておりますが、総合評価には含まれていないことをご承知ください。

8月15日の教育委員会では、採択検討委員会中学校部会の部会長である先生に、本日作成します調査報告（答申内容）について答申していただき、それを受けて、教育委員のみなさんが令和7年度使用中学校教科用図書を選定いたします。

それでは、審議に入ります。部会長、宜しくお願い致します。

5 調査報告

（部会長）

中学校教科用図書採択は、10教科16種目になります。進行について確認いたします。まず、調査部会の調査部会教科代表者から、推薦する発行者名と推薦理由を、ポイントを押さえてご説明頂きます。

次に事務部会代表から、学校での調査・評価の主なものをお話しいただき、参考意見とします。

そのあとに、調査内容についての質疑、意見交換を行い、調査報告を決定いたします。

それでは、国語、国語（書写）、社会（地理的分野）、社会（歴史的分野）、社会（公民的分野）社会（地図）、数学、理科、音楽（一般）、音楽（器楽合奏）、美術、保健体育、技術・家庭（技術分野）、技術・家庭（家庭分野）、外国語（英語）、道徳の順に進めてまいります。

この会で取りまとめたものを、この後に開催される採択検討委員会全体会で提案させていただきます。全体会が16時35分から予定されていますので、16時30分には終了するようご協力をお願いします。

（1）国語

（部会長）

それでは、国語から始めます。調査部会教科代表からご報告お願いいたします。

（調査部員）

国語は、「光村図書出版」を推薦します。「学びへの扉」で単元の学習過程を把握できることや、「学びのカギ」で身に付けたい資質・能力が明確にわかるところが、主体的に学習を進めるという点で大変配慮されています。また、様々な種類の読書活動が掲載されており、生徒の日常と読書を結び付ける工夫がなされている点が特に優れています。

(部会長)

続いて、事務部会代表からご報告お願いいたします。

(事務部員)

事務部会推薦の発行者は、「三省堂」と「光村図書出版」です。

主な推薦理由を3点ずつあげます。

三省堂は、①表紙のデザインやイラストが多いことや、図解が多くあり、視覚的にわかりやすくなっている点、②单元ごとに語彙を豊かにする意図が感じられ、多くの語彙が習得できるような工夫がなされている点、③学年ごとに図書の分類や「私の読書体験」があることや、読書活動の例が多く、読書意欲を高める工夫がなされている点です。

光村図書出版は、①「学びの扉」など構成や内容に工夫が見られ、生徒が学びやすく作られている点、②物語の種類や分量が適切であり、多様な教材に触れることができ、語彙を豊かにするための様々なアプローチがある点、③読書活動の充実につなげられる内容があることや本の紹介数が多いことで、読書意欲を高める工夫がなされている点です。

(部会長)

ありがとうございました。では、調査資料についてご質問・ご意見はありますか。

[質疑・意見]

(委員)

事務部会からは、2者が出ているかと思いますが、調査部会は、2者のうちの「光村」1者を推薦しています。2者を比べて「光村」のよりよいところ、あるいは3つの資質・能力との関連の中で、特に優れているところをお話しいただけたらありがたいです。

(調査部員)

現在は三省堂の教科書を使っていますので、今回光村を推薦するにあたり、優れていると考えた理由は、3つあります。

まず1点目は、横須賀市では、「書くこと」に力を入れておりますが、その中でも特に、意見文や批評文を書くことに力を入れており、光村の教科書は、身に付けるべき資質・能力の習得をする上で、とても効果的

な部分があります。

例えば、3年生の教科書137ページに批評文が載っています。こちらには、「学びのカギ」で身に付けたい資質・能力が載っており、なおかつ、つまずきやすい点、どのように考えれば解決できるか、もしつまずいたところがもっと前の単元だった場合は、そちらを見ると、55ページにわかりやすく掲載があるため、書くことにおいて有効だと思いました。

2点目は、読書活動についてです。こちらも横須賀市で力をいれているところですが、まずすべての学年において学習指導要領の指導事項にあった副題がついています。1年生は「研究の現場によるこそ」、2年生は「自分らしさを認め合う社会へ」、3年生は「本は世界の扉」というタイトルで、各学年の読書の指導事項に応じています。その点でもこちらの方が優れていると感じました。

3点目ですが、言葉についてです。確かに三省堂にも単元ごとに「語彙を豊かに」という項目があり、言葉が載っているのですが、光村は最後の方に語彙ブックという形でまとめられています。何かあったときに語彙ブックを見ればすぐに、自分の使いたい言葉が見つけれるところが、三省堂にはない工夫だと思いました。書くことの資質・能力の部分、読書活動、また語彙ブック、言葉に着目するという3点から光村を選びました。

(部会長)

その他、いかがでしょうか。

(部会長)

それでは、調査報告は、「光村図書」としてよろしいですか。

(採択検討委員)

結構です。

(部会長)

それでは、国語の調査報告は、「光村図書」とします。

(2) 国語 (書写)

(部会長)

次は、国語 (書写) です。調査部会教科代表からご報告お願いいたし

ます。

(調査部員)

書写も「光村図書出版」を推薦します。毛筆と硬筆の関連性や楷書と行書の配分等教科書全体の構成やイラストや写真等の配色に工夫が見られ、生徒が見通しをもって学習を進められる点で大変使いやすいこと、また、「書写ブック」は、生徒が主体的に毛筆で学んだことを硬筆に生かすことができる点で大変効果的である点から、これを推薦します。

(部会長)

続いて、事務部会代表からご報告お願いいたします。

(事務部員)

事務部会推薦の発行者は、「三省堂」と「光村図書出版」です。

主な推薦理由を3点ずつあげます。

三省堂は、①表記がわかりやすく、分量が適切であり、見本が大きいことや、点画や筆順が見やすくなっている点、②毛筆と硬筆のバランスがとれており、ポイント解説や目標がわかりやすく示されている点、③国語の教科書と連携していることや、書く場面の設定など生活につなげる工夫がなされている点です。

光村図書出版は、①構成、分量ともに適切であり、資料や練習できるページが多く使いやすい点、②毛筆と硬筆のバランスがとれており、説明が適切で、ポイントがわかりやすくまとめられている点、③書写を生活の場面でどのように使うかが書かれていることや、手書きの良さや文字の力に触れており、学んだことが日常に生きるように工夫がなされている点です。

(部会長)

ありがとうございました。では、調査資料についてご質問・ご意見はありますか。

[質疑・意見]

(委員)

国語と書写に絡んでの質問ですが、いただいた意見を元にとすると、結果的に国語、書写ともに光村図書になります。前回も三省堂で両方統一

されていたと思いますが、同じ出版社にしたねらいがあるのかお聞きします。

(調査部員)

光村図書で統一したねらいはあります。同じ出版社にすることで、国語で学んだことを、そのまま書写に生かせるため、統一したということです。また、先ほど国語で説明した「語彙ブック」で学んだ言葉を、「書写ブック」に書くことができ、効果的に活用できる点があげられます。古典教材等も国語で学んだものを書写でも生かせるため、このつながりがあると大変効果的であると考えました。

(部会長)

その他、いかがでしょうか。それでは、調査報告は、「光村図書」としてよろしいですか。

(採択検討委員)

結構です。

(部会長)

それでは、国語（書写）の調査報告は、「光村図書」とします。

(3) 社会（地理）

(部会長)

次は、社会（地理）です。調査部会教科代表からご報告お願いいたします。

(調査部員)

社会（地理）は、「東京書籍」と「帝国書院」を推薦します。

東京書籍は、単元課題が明確に示されているとともに、「探究のステップ」により単元の学習を振り返ることができるため、単元を通じた学習となる点が大変工夫されています。

帝国書院は、各ページに単元課題が示され、生徒が課題を意識しながら学習することができること、さらに写真・資料が大きく大変わかりやすく、単元のまとめについては、見方・考え方の項目が示されおり、生徒が単元課題をまとめるうえで、大変活用しやすくなっています。

(部会長)

続いて、事務部会代表からご報告お願いいたします。

(事務部員)

事務部会推薦の発行者は「帝国書院」です。

主な推薦理由を3点あげます。

①分量が適切であり、図や表、写真が大きく見やすくなっている点、視覚的に情報が入りやすくなっている点、②ページごとに、説明させる課題が設定されており、地理的な見方・考え方を働かせて考える工夫がなされている点、③単元を通して、課題を解決していく過程がわかりやすく示されており、単元と単元のつながりを感じられる構成になっている点です。

(部会長)

ありがとうございました。では、調査資料についてご質問・ご意見はありますか。

[質疑・意見]

(委員)

調査部会では2者となっていますが、課題解決という点で同じような良さがあると思いますが、子どもたちにとってよりよいのはどちらか、という議論はありましたか。

(調査部員)

もちろんありました。2者とも単元の課題を追究していくという学習のスタイルに関しては申し分なく、子どもたちが単元の課題を発見し、それを教科書や資料を通して解決できるという過程はできているのですが、先ほども申したとおり、帝国書院の方は資料が大きく使いやすいことと、データや資料の取り扱い方や、それに対する発問などがわかりやすく、生徒にとってより学びを深めやすいつくりになっていると判断し、帝国書院がより優れているという意見が出ておりました。

(部会長)

その他、いかがでしょうか。それでは、調査部会では、二者でしたが、

帝国書院の方がより優れているというお話でしたので、調査報告は、「帝国書院」としてよろしいですか。

(採択検討委員)

結構です。

(部会長)

それでは、社会（地理）の調査報告は、「帝国書院」とします。

(4) 社会（歴史）

(部会長)

次は、社会（歴史）です。調査部会教科代表からご報告お願いいたします。

(調査部員)

社会（歴史）は、「東京書籍」と「帝国書院」を推薦します。

東京書籍は、見方・考え方について説明が丁寧に行われており、単元課題を解決する上で、学習内容について思考ツールなどを活用して段階的にまとめられる点が大変配慮されています。

帝国書院は、導入の「タイムトラベル」の資料を使って、単元課題に基づく探究学習を行う構成になっており、生徒が歴史的な見方・考え方を働かせ、様々な視点で考察しながら課題解決できる点が特に優れています。

(部会長)

続いて、事務部会代表からご報告お願いいたします。

(事務部員)

事務部会推薦の発行者は、「帝国書院」です。

主な推薦理由を3点あげます。

①分量が適切であり、図や表、写真が大きく見やすくなっている点、視覚的に情報が入りやすくなっている点、②単元の導入ページや本文と関連のある図や表がわかりやすく提示されており、歴史的な事象の流れが掴みやすくなっている点、③節や章ごとの課題設定が明確になっていること、探究学習の過程がわかりやすく示されており工夫されている点です。

(部会長)

ありがとうございました。では、調査資料についてご質問・ご意見はありますか。

[質疑・意見]

(委員)

社会科全体に言えることかもしれませんが、どうしても知識注入というか、暗記的なものと思われがちだと考えますが、これからは、社会で生きていくときに、子どもたち自身が探究的な学びというものを身に付けていくことが必要かと思います。歴史は「探究的に」ということが難しいかなと思いますが、探究的な学びをどのように実現するのかについて、どんな議論がされたでしょうか。

(調査部員)

歴史的な知識を身に付けるということについては、その量に関して他の出版社でも非常に多いものも見られたため、議論になりました。ただ、帝国書院の教科書の導入に「タイムトラベル」と表記してありますが、絵を使って、時代の背景や言葉だけではなく、写真一枚からいろんなものを見つけて、そこからどういった変化があるのだろうか、どのような違いがあるのだろうか、子どもたちが課題をもって学び、探究的に歴史の学びを深めるのに優れていると判断し、帝国書院を推薦しました。

(部会長)

その他、いかがでしょうか。

(調査部員)

補足します。帝国書院は、最後の方に、学んだ各時代が並んでいて、より体感的というか歴史をつなぐような工夫もされていて、歴史が苦手な子どもも取り組みやすいのではないかという声があったのでご紹介しておきます。

(部会長)

ありがとうございました。それでは、調査報告は、「帝国書院」としてよろしいですか。

(採択検討委員)

結構です。

(部会長)

それでは、社会（歴史）の調査報告は、「帝国書院」とします。

(5) 社会（公民）

(部会長)

次は、社会（公民）です。調査部会教科代表からご報告お願いいたします。

(調査部員)

社会（公民）は、「東京書籍」と「帝国書院」を推薦します。

東京書籍、帝国書院ともに、生徒が見方・考え方を働かせて探究学習を行うための工夫がされています。

東京書籍は、文章による説明や思考ツールを使った活動が充実しており、様々な立場や条件から考察できる点が優れています。

帝国書院は、実生活とつながる事例や問い、資料が豊富であり、内容も充実していて、考え方や取り組み方が丁寧に説明されており、生徒が学び方を学ぶことができる点が特に優れています。

(部会長)

続いて、事務部会代表からご報告お願いいたします。

(事務部員)

事務部会推薦の発行者は、「東京書籍」と「帝国書院」です。

主な推薦理由を3点ずつあげます。

東京書籍は、①実社会とのつながりが意識できる工夫がされており、「学び向かう力、人間性等」を育む工夫がされている点、②様々な場面で、見方・考え方を働かせる視点のマークが示されており、大変わかりやすい点、③単元を通して問いを意識して学習できるようになっており、まとめの内容が問いを解決できるように工夫されている点です。

帝国書院は、①思考ツールを活用することで調べたことや考えを整理することができ、「思考力、判断力、表現力」を育む工夫がされている点、

②説明、資料、コラムなど各種の記述量のバランスが適切であり、用語の解説が図式化されておりわかりやすい点、③具体的な事例から、見方・考え方を働かせて考えられるようになっており、学びを深めるために活用しやすい点です。

(部会長)

ありがとうございました。では、調査資料についてご質問・ご意見はありますか。

[質疑・意見]

(委員)

調査部会、事務部会ともに同じ2者をあげています。審議する上で、具体的に、この部分においてはこちらの方が優れているというような、委員がこの2者について考えるポイントを教えてください。

(調査部員)

帝国書院は、まず難しい表現を易しく噛み砕いてわかりやすく説明している点があげられます。具体的には、34ページと35ページ、こちら人権保障と法の支配という、子どもたちには少し難しい内容になるのですが、わかりやすい例えで示されています。基本的な人権として、好きな本を読む、小学校や中学校で勉強できる、など生徒にわかりやすい例え、35ページでは、法の支配は、例えば、自動車を持っている人は税金を納めるなど、わかりやすい例えがあるところが良さの一つです。また、帝国書院は、アクティブ公民というページがあり、ここでは対話的な学習ができるような工夫がされている点が優れています。ページで言うと22ページと23ページになります。マンションの騒音問題を解決しようとするもので、マンションに住んでいる住民の立場になって、それぞれの立場から対立と合意、効率と公正といった見方・考え方を養うことができるような教材になっていて、こういった点が優れています。

対する、東京書籍ですが、みんなでチャレンジというページで、対話的な活動ができるようなテーマが多く設定されており、様々な意見交換ができる点が優れております。また、章の最後に設定されていることで、単元の学習が終わった後に全体で単元のまとめや振り返りをするときに、みんなでチャレンジができる、例えば55ページの右上のところにある、思考ツールYチャートを用いて、対話をしながらこういった活動ができ

る点で優れています。

(部会長)

その他、いかがでしょうか。調査部会、事務部会ともに、「東京書籍」と「帝国書院」の二者を推薦していますので、甲乙つけがたいということで、調査報告は、「東京書籍」と「帝国書院」の2者としてよろしいですか。

(採択検討委員)

結構です。

(部会長)

それでは、社会（公民）の調査報告は、「東京書籍」と「帝国書院」の2者とします。

(6) 社会（地図）

(部会長)

次は、社会（地図）です。調査部会教科代表からご報告お願いいたします。

(調査部員)

社会（地図）は、「帝国書院」を推薦します。扱われている地図が見やすく、また、同じページ内の地図の大きさ及び範囲などが統一されている点が特に優れています。さらに、主題図、統計資料が豊富に掲載され、探究学習を進める際に大変使いやすい点から、これを推薦します。

(部会長)

続いて、事務部会代表からご報告お願いいたします。

(事務部員)

事務部会推薦の発行者は、「帝国書院」です。

主な推薦理由を3点あげます。

①内容・分量とも見やすく、地図の色分けや一つ一つの記号の説明が大変わかりやすい点、②図が適切に配置されていたり、索引が見やすくなっていたりするので、地図帳が活用しやすくなっている点、③様々な

角度で図や資料を読み取ったり、思考したりできる工夫がされている点です。

(部会長)

ありがとうございました。では、調査資料についてご質問・ご意見はありますか。

[質疑・意見]

(委員)

社会は、先ほどの3つの分野で帝国書院があがっており、地図も帝国書院ですが、帝国書院にする意図、同じ出版社にするメリットはございますか。

(調査部員)

調査部会としては、ねらってそろえた意図は全くないのですが、分野ごとに検討していく中で、生徒が学びたいとか、考える工夫がされているかどうかという視点で検討し、結果的に同じ出版社になりました。社会(地図)を発行している2者とも共通して、豊富な資料やコンテンツなどを活用することによって、多くの疑問や課題があったときに生徒が自ら学習を進める手助け、工夫がされていると感じたところがありますが、特に優れていたのは、帝国書院だという結果となっております。

(部会長)

その他、いかがでしょうか。それでは、調査報告は、「帝国書院」としてよろしいですか。

(採択検討委員)

結構です。

(部会長)

それでは、社会(地図)の調査報告は、「帝国書院」とします。

(7) 数学

(部会長)

次は、数学です。調査部会教科代表からご報告お願いいたします。

(調査部員)

数学は、「東京書籍」と「学校図書」を推薦します。東京書籍、学校図書ともに、資質・能力の3つの柱で整理された目標を踏まえ、深い学びにつなげることを意識した構成となっています。

特に、学校図書は、領域のつながりを意識し、系統的な学びができることが期待できます。データ分析においても批判的な考察ができるよう工夫されています。

東京書籍は、章末にある学び方のプロセスが明確であり、数学的活動を通して、深い学びに向けて効果を上げることが期待できます。

(部会長)

続いて、事務部会代表からご報告お願いいたします。

(事務部員)

事務部会推薦の発行者は、「学校図書」です。

主な推薦理由を3点あげます。

①資質・能力の3つの柱で整理された目標を踏まえた工夫や配慮がなされている点、②問題の量や質が適切であり、図が見やすく、また、各章に様々な数学的な表現が用いられており、生徒が考えを表現したり深めたりできるような発問がある点、③例題としてあげられている事例は身の回りのことが多く、現代における環境問題を扱っており、考えを深めるための工夫が大変されている点です。

(部会長)

ありがとうございました。では、調査資料についてご質問・ご意見はありますか。

[質疑・意見]

(委員)

採択の観点にはなかったのですが、気になる点があります。2年生の教科書で男子女子という表現があります。いわゆるLGBTQについて、前の出版社の教科書と比べて、意識してその文言を使わないで問題を設定している出版社と、そうでない出版社に分かれたとっております。採択の観点そのものではないのですが、横須賀の生徒にふさわしいものと

いうところで広く捉えれば、その点も考える必要があると思うので、何か話題にあがっていたらよろしくお願いします。

(調査部員)

例えば、他の教科書にも各国のアイコンのようなキャラクターがおり、多様性を意識しているという話題は出ましたが、その点よりも学ぶ中身だろうということで、そこに関しては判断材料といたしませんでした。

(部会長)

その他に、ご質問等ございませんか。

(委員)

小中のつながりという点で、中学校に入って、数学となった途端苦戦する子がいるかと思いますが、そういう観点から考えたときに調査部会から出されている東京書籍や学校図書は、ある程度小学校の学びを復習しながら学習を進めるようなつくりになっていると思いましたが、小中のつながりということではどのような話し合いがあったのでしょうか。

(調査部員)

小中のつながりに関しましては、章の扉に振り返りというページがあり、特に学校図書の方が、小学校でこんなことを学んできたよねということが記述してありまして、小学校のことを想起させながら新しい章に入ることができると感じました。東京書籍は、この章で学ぶことは、こういうことなんだよということが端的に示されており、これから先を見るようなつくりになっておりまして、学校図書の振り返りがあるのは非常にわかりやすいという意見が出ておりました。

(部会長)

その他、いかがでしょうか。それでは、調査報告は、「学校図書」としてよろしいでしょうか。

(採択検討委員)

結構です。

(部会長)

それでは、数学の調査報告は、「学校図書」とします。

(8) 理科

(部会長)

次は、理科です。調査部会教科代表からご報告をお願いいたします。

(調査部員)

理科は、「東京書籍」を推薦します。単元を通じた学習課題や既習事項を明確に示すことが、学習のまとまりにつながり、探究的に学習を進めるための工夫となっています。また、学習者にとっても、教員側にとっても学習の展望が見通しやすく、大変優れている点その理由です。

(部会長)

続いて、事務部会代表からご報告をお願いいたします。

(事務部員)

事務部会推薦の発行者は、「東京書籍」です。

主な推薦理由を3点あげます。

①以前のものよりも小さくなっており、写真等が適切な位置にある点、また、思考を助ける図や表が大変充実しており、支援が必要な生徒にとっても取り組みやすい点、②「じっくり探究」で、具体的な探究の過程が細かく示されており、科学的に探究する力の育成に大変効果的である点、③身近なものをを用いた観察・実験が示されており、様々なものとの関わりを実感できる内容が大変効果的である点、の3点です。

(部会長)

ありがとうございました。では、調査資料についてご質問・ご意見はありますか。

[質疑・意見]

(委員)

調査部会に質問します。報告書の(ア)の2行目に理科の見方・考え方が、授業者・生徒双方にとって注目しやすい、というところを具体的にお願いします。

(調査部員)

学習指導要領解説では、理科の見方として、量的・関係的な視点で捉えること、質的・実体的な視点で捉えること、共通性・多様性の視点で捉えること、時間的・空間的な視点で捉えることなどがあげられています。また、探究の過程で比較したり、関係づけたりして考えることが必要になってきます。

見方・考え方については、今回の教科書でいくと、ファシリテーターキャラクターが、各学年についておりまして、例えば、1年生では鉱物のキャラクターがついていますが、各ページで理科の見方・考え方について、こういったものが出ているよということで発言しているようなつくりになっていて、生徒はキャラクターに注目することで、見方・考え方に触れることができる作りになっています。

(部会長)

その他、ご質問・ご意見等いかがでしょうか。それでは、調査報告は、「東京書籍」としてよろしいでしょうか。

(採択検討委員)

結構です。

(部会長)

それでは、理科の調査報告は、「東京書籍」とします。

(9) 音楽 (一般)

(部会長)

次は、音楽 (一般) です。調査部会教科代表からご報告お願いいたします。

(調査部員)

音楽 (一般) は、「教育芸術社」を推薦します。全体の構成が、見やすく、写真・イラスト・文字数のバランスが大変工夫されていること、また、学習内容や各教材の目標などが充実しており、生徒が何を学ぶのか、どのような力が身に付けられるのかが大変明確であること、3年間の系統的な学習が明瞭で、学年の発達の段階に応じた適切な配列がされているとともに、生徒が学びやすい作品が大変充実していることなどがその

理由です。

(部会長)

続いて、事務部会代表からご報告お願いいたします。

(事務部員)

事務部会推薦の発行者は、「教育芸術社」です。

主な推薦理由を3点あげます。

①学習内容や学習目標が、毎時間示されているとともに、音楽を形づくっている要素が示されていて大変わかりやすい点、②目標やその実現に向けた内容が提示されており、生徒が実際に何に取り組めば良いかがわかりやすい点、③音楽文化を理解しやすいように、多様な音楽を学習するための工夫を配慮がなされている点です。

(部会長)

ありがとうございました。では、調査資料についてご質問・ご意見はありますか。

[質疑・意見]

(委員)

音楽は豊かな感性を育む上で重要な教科だと思っております。子どもたちの豊かな感性を育むような主体的な活動が、より支えられるという視点で教科書の良さをお話しただけならと思います。

(調査部員)

まず、生徒の発達段階に応じたつくり、という点が重要だと思います。例えば、日本の歌曲一つ取りましても、1年生では赤とんぼ、浜辺の歌が取り上げられています。以前は、浜辺の歌は2年生で、1年生では夏の思い出、という時がありましたが、夏の思い出の詩の理解をして表現の工夫をする、というところで見ますと、2年生に夏の思い出が掲載されているところも発達段階に一致しています。鑑賞教材におきましても、音楽の時代とともに、1年生ではバロック時代、2年生では古典派の時代ということで時代を追って学べるようになっていたり、楽器の変化や作曲の構成等の変化を同時に学べるようになっていたりして、子どもたちが発達段階に合わせて感性を豊かにしていくような内容になって

いるという話題が出ました。

(部会長)

ありがとうございます。その他、いかがでしょうか。

(委員)

今のとも関連するかもと思いましたが、音楽（一般）を発行している2者を比べたときに、選曲、曲自体に特徴があるかと思いますが、選ばれている楽曲については、何か議論ができましたか。

(調査部員)

今、日本の歌曲についてはお伝えしたとおりですが、やはり鑑賞にしましても時代とともに、1・2年生のときは基礎的なことを、3年生になると生徒の実態に合わせて選曲をしていくということでは、教育芸術社は、曲数も多く幅広く載っておりますので、その点はとても適していると話題に出ました。

(部会長)

その他、いかがでしょうか。それでは、調査報告は、「教育芸術社」でよろしいでしょうか。

(採択検討委員)

結構です。

(部会長)

それでは、音楽（一般）の調査報告は、「教育芸術社」とします。

(10) 音楽（器楽合奏）

(部会長)

次は、音楽（器楽合奏）です。調査部会教科代表からご報告お願いいたします。

(調査部員)

音楽（器楽合奏）は、「教育芸術社」を推薦します。内容や構成、配色、表記が適切で大変見やすいこと、また、各楽器の紹介、説明がとても充

実しており、生徒が幅広いジャンル、楽器に興味をもち、主体的・協働的に学習に取り組めるような点が大変工夫されていること、教材が、系統的、発展的に配列されており、生徒が無理なく学習を積み重ねていけるように大変配慮されている点が主な理由です。

(部会長)

続いて、事務部会代表からご報告お願いいたします。

(事務部員)

事務部会推薦の発行者は、「教育芸術社」です。

主な推薦理由を3点あげます。

①打楽器のページが、実際の活動に参考になる点が多く、大変充実している点、②音楽文化を理解しやすいように、多様な音楽を学習するための工夫や配慮が見られる点、③生徒が主体的に学習できるようにバンドや和と洋の融合などの資料が豊富で、多方面から生徒にアプローチできる点です。

(部会長)

ありがとうございました。では、調査資料についてご質問・ご意見はありますか。

[質疑・意見]

(委員)

器楽の方は、みんなで合わせるという、合唱とはちょっと違った形だと思いますが、協働的というか、お互いに議論しながらというか、そういう点は、教育芸術社の方がより子どもたちにとって活動しやすい、入っていきやすいのでしょうか。

(調査部員)

リコーダーを取り上げますと、レッスン1から4まで段階を経て、ポイントになることが載っています。どういうふうに入息を入れたらこの曲にあった音になるのか、子どもたちが議論する上でポイントになることが、非常にわかりやすく書いてあります。そういうところは話題にありました。

(部会長)

その他、よろしいでしょうか。それでは、調査報告は、「教育芸術社」としてよろしいですか。

(採択検討委員)

結構です。

(部会長)

それでは、音楽（器楽合奏）の調査報告は、「教育芸術社」とします。

(11) 美術

(部会長)

次は、美術です。調査部会教科代表からご報告お願いいたします。

(調査部員)

美術は、「光村図書出版」を推薦します。理由は、主題を生み出すことの大切さが伝わるような構成になっており、複数ページにわたって多様な表現の参考作品が紹介されているため、生徒の実態や思いに合わせて読むことができるため大変活用しやすい点です。

(部会長)

続いて、事務部会代表からご報告お願いいたします。

(事務部員)

事務部会推薦の発行者は、「光村図書出版」です。

主な推薦理由を3点あげます。

- ① 生徒の目を引く工夫がされており、レイアウトも統一されていて使いやすい点、②目標がわかりやすく、発想のてがかりが見えるように工夫されている点、③表現と鑑賞が一体的に取り扱われているため活用しやすい点、の3点です。

(部会長)

ありがとうございました。では、調査資料についてご質問・ご意見はありますか。

[質疑・意見]

(委員)

調査部会に質問します。観点(エ)の「主題を生み出すことの大切さが伝わるような構成」について、具体的に教えてください。

(調査部員)

1年生の教科書の最初の方にある題材ですが、14ページにリンゴの写真が載っています。「発想の仕方は様々」ということで、生徒がどのきっかけで表現、発想、主題を見つけていくのかという紹介が、美術との出会いとして、自由な構成でわかりやすく表現されています。また、2年生・3年生につきましては、54ページから、「今の自分、これからの自分」という題材があります。いわゆる自画像にあたるような内容で、自己を見つめる上で、自分自身の心やこれからの自分を表現していくというものです。自分の顔を見つめることは、中学生は避ける傾向があるのですが、いろいろな表現の方法や技法であるとか、自分自身を見つめるにあたって、顔だけではない姿というところも含めて、生徒作品が多様に紹介されております。こちらも含めて主題を生み出しやすいという部分で、挙げさせていただきます。

(部会長)

その他、いかがでしょうか。

(員)

今回、別冊がありますが、それとデジタルコンテンツとの関連はどのような感じですか。

(調査部員)

デジタルコンテンツは、特に鑑賞の授業で扱いやすい特徴があります。具体的には、とても高精細に拡大ができる点や、自分で思ったことを書き込める点が挙げられます。これに対して別冊は、表現の中でも使用できる内容で、どの教科書にも巻末資料にそのような内容が載っています。例えば2・3年生のときに、1年生のときのやり方がどうだったかなと振り返りたい場合に、その場に教科書がないと参考にしにくいことがあります。そのような場面で、別冊でまとめられていると、一目でわかりやすいので工夫されていると感じます。

(委員)

では、違いがしっかりあるということですか。

(調査部員)

はい。デジタルコンテンツとは、また違いがあります。

(部会長)

その他、いかがでしょうか。それでは、調査報告は、「光村図書」としてよろしいですか。

(採択検討委員)

結構です。

(部会長)

それでは、美術の調査報告は、「光村図書」とします。

(12) 保健体育

(部会長)

次は、保健体育です。調査部会教科代表からご報告お願いいたします。

(調査部員)

保健体育は、「東京書籍」と「大修館書店」を推薦します。

東京書籍は、習得した知識・技能を活用して、さらに思考を深められるよう構成されており、生徒にとっても、経験年数の少ない教員にとっても大変活用しやすくなっています。また、巻末のスキルブックと合わせてデジタルコンテンツも充実しており、生涯にわたって健康を保持増進する態度を養うことができるように構成が工夫されています。

大修館書店は、コラムや特集資料のページなど、様々な現代の課題に対応した特集資料が活用しやすいです。また、生徒にとって身近に感じやすい題材が取り上げられており、現在や将来の生活に生かすことができるように大変工夫されています。

(部会長)

続いて、事務部会代表からご報告お願いいたします。

(事務部員)

事務部会推薦の発行者は、「東京書籍」と「大修館書店」です。

主な推薦理由を3点ずつあげます。

東京書籍は、①文章が要点を押さえており、説明や図、イラストの分量が適切である点、②生徒が調べ学習などで科学的に思考し、筋道を立てて表現できる活動が取り入れられている点、③自分の生活に置き換えて考えられる工夫がされている点です。

大修館書店は、①イラストが見やすく、生徒の関心を引き出すような内容構成になっている点、②一連の流れで学習ができ、考えを他者に伝える学習活動が取り入れられている点、③学習後の振り返りに工夫がみられる点です。

(部会長)

ありがとうございました。では、調査資料についてご質問・ご意見はありますか。

[質疑・意見]

(委員)

保健体育の中の、特に保健分野になると思いますが、今日的な課題や中学生ならではの成長過程のところの問題とか、そういう部分も扱い方に結構幅があると感じたのですが、その議論は何かありましたでしょうか。

(調査部員)

今日的な課題、現代社会が抱える課題として、SDGs や LGBTQ といった話題があげられると思います。性の多様性、さらにはコロナを含めた感染症の問題、近年の気象状態など、課題についても多岐にわたると考えます。このことは調査部会でも話題にあがりました。教科指導としましては、あくまでも学習指導要領に示された内容が、指導すべき内容ですので、これらの今日的な課題については、付随して適宜話題に出しながら、生徒の学びを深められるように指導していくことが大切なのではないかという話になりました。

(部会長)

その他、ご質問、ご意見いかがでしょうか。

(委員)

調査部会の採択の観点(ア)のところ、資質・能力の工夫や配慮については、それぞれの教科書の見やすさとか、活用のしやすさについての記載はあるのですが、実際に、資質・能力を育成する上で、それぞれの出版社の良さがあれば教えてください。

(調査部員)

東京書籍は、どのページも共通しているのですが、18ページを開いていただくと、「見つける」、今日の学習課題、各問いがあって、学んだ知識を活用する、そして最後にそれをさらに広げるという構成になっております。特に、「見つける」では、日常的な生活を連想できる問いが投げかけられており、実生活と照らし合わせて学習を深めていく工夫がなされています。さらに、「活用する」で、習得した知識・技能を、自分事に置き換え、思考したり説明したり話し合ったりするような工夫がされているため東京書籍の方が優れていると判断しました。

(部会長)

その他、いかがでしょうか。それでは、調査報告につきましては、「東京書籍」としてよろしいでしょうか。

(採択検討委員)

結構です。

(部会長)

それでは、保健体育の調査報告は、「東京書籍」とします。

(13) 技術・家庭(技術分野)

(部会長)

次は、技術・家庭(技術分野)です。調査部会教科代表からご報告お願いいたします。

(調査部員)

技術・家庭(技術分野)は、「東京書籍」と「開隆堂出版」を推薦しま

す。

東京書籍は、問題発見や課題設定の活動でより深く考えられるよう様々な思考ツールが例として紹介されていたり、問題解決の流れが理解しやすいよう複数の実践例が紹介されていたりするなど、技術による問題解決の活動が生徒・教師どちらにとっても大変わかりやすいものになっています。

開隆堂出版は、「Wants」「環境」「安全」「経済」の統一されたキーワードが繰り返し使われており、生徒が技術の見方・考え方を働かせるように大変工夫されています。また、既存の技術の理解では、技術をどのように調査・分析すればよいか、ワークシートも挙げながら丁寧に説明されていて大変わかりやすいです。

(部会長)

続いて、事務部会代表からご報告お願いいたします。

(事務部員)

事務部会推薦の発行者は、「東京書籍」です。

主な推薦理由を3点あげます。

①指導計画等に応じて活用できる図や表などの資料が大変充実している点、②基礎的な部分が丁寧に表現されているため、教科書を活用した作業がやりやすい点、③各単元の到達目標がわかりやすく表記されており、生活の中にある課題を導入で引用しているため、問題解決の糸口がつかみやすい点です。

(部会長)

ありがとうございました。では、調査資料についてご質問・ご意見はありますか。

[質疑・意見]

(委員)

1つ教えてください。開隆堂出版のところに、キーワードとして「Wants」が出ております。東京書籍の方では、「社会」「安全」「環境」「経済」、開隆堂出版の方では、「Wants」「環境」「安全」「経済」とありますが、「Wants」というのは、具体的にどのようなものか教えていただけますでしょうか。

(調査部員)

技術は問題解決ということで、今どういう問題があって、どのようなものが求められているのかというのを、様々な視点から考えていく時に、実際にどういった視点がこれから大事なのかを考えるところで、「Wants」が開隆堂では加えられていて、より幅広い視点から考えられるようになっていると思います。

(部会長)

その他、いかがでしょうか。それでは、調査報告は、「東京書籍」としてよろしいですか。

(採択検討委員)

結構です。

(部会長)

それでは、技術・家庭（技術分野）の調査報告は、「東京書籍」とします。

(14) 技術・家庭（家庭分野）

(部会長)

次は、技術・家庭（家庭分野）です。調査部会教科代表からご報告お願いいたします。

(調査部員)

技術・家庭（家庭分野）は、「東京書籍」を推薦します。その理由は、実習例が多く取り上げられており、学校の実態や生徒の個性に応じた実践的・体験的な学習活動が行えること、例示されている思考ツールを活用することで、生徒一人ひとりの考えを深めたり、グループでの意見をまとめたりすることができること、生活の営みに係る見方・考え方を働かせた学習となるよう、4つの視点の大切さや内容との関わり、日常生活のつながりなど、生活や学習の過程でそれらを働かせて理解を深めることができるよう配慮されている点です。

(部会長)

続いて、事務部会代表からご報告お願いいたします。

(事務部員)

事務部会推薦の発行者は、「東京書籍」です。

主な推薦理由を3点あげます。

①色使いがとても優しく、全体の構成等のバランスが良い点、②到達目標の表記が分かりやすく、各章の始まりにポイントが丁寧に記載されている点、③学習のサイクルP D C Aが分かりやすく取り上げられていて、各編の導入において見方・考え方のキーワードが例示されている点です。

(部会長)

ありがとうございました。では、調査資料についてご質問・ご意見はありますか。

[質疑・意見]

(委員)

どの教科も関連するところがあると思いますが、特に、家庭分野の場合、SDGs との関わりが色濃く出てくると思います。その点で議論になったことはあったでしょうか。

(調査部員)

SDGs については、東京書籍は、非常に多くの例が紹介されていることでより深く考えられたり、レッツスタートという様々な問いから、SDGs とのつながりを考えられたりする構成になっています。

(部会長)

その他、いかがでしょうか。それでは、調査報告は、「東京書籍」としてよろしいですか。

(採択検討委員)

結構です。

(部会長)

それでは、技術・家庭（家庭分野）の調査報告は、「東京書籍」としま

す。

(15) 外国語（英語）

（ 部会長）

次は、外国語（英語）です。調査部会教科代表からご報告お願いいたします。

（ 調査部員）

外国語（英語）は、「東京書籍」と「開隆堂出版」を推薦します。

東京書籍、開隆堂出版ともに、4技能5領域をバランス良く取り入れ、生徒の読みたくなる・考えたくなる題材を多く用いています。

東京書籍は、デジタルコンテンツの圧倒的な情報量とともに、授業者にとっても扱いやすいよう大変工夫され、英語を使って学びを深めることに特化しています。

開隆堂出版は、生徒の読解量を担保し生徒の推察する力を育てるという意識が、授業者にやや必要かと思いますが、東京書籍同様にデジタルコンテンツが優れています。

（ 部会長）

続いて、事務部会代表からご報告お願いいたします。

（ 事務部員）

事務部会推薦の発行者は、「東京書籍」です。

主な推薦理由を3点あげます。

①紙面の構成や分量が学年ごとに工夫されていて、文章とイラストのバランスがとても良い点、②4領域がバランスよく配置され、例題も多く示されているため、生徒が会話に活用する上で大変効果的である点、③社会的な話に深く踏み込み、幅広く世界を知ることができる点です。

（ 部会長）

ありがとうございました。では、調査資料についてご質問・ご意見はありますか。

[質疑・意見]

（ 委員）

デジタルコンテンツについて質問です。個の学びにより応じている、主体的に活用できるデジタルコンテンツが期待されるのは、どのような点でしょうか。

(調査部員)

どちらの出版社もデジタルコンテンツに力を入れています。英語は文法や単語というイメージがありますが、それぞれのユニットや単元の導入の映像が優れていて、生徒の関心・興味をひくことができると思っています。個別でデジタルコンテンツの活用となると、特に、東京書籍は、1ページの最初に載っていますが、同じ語句を学習するにしても音声だけでなくクイズを使ったり、キーセンテンスの解説があったりします。また発音も大切ですが、口の形を具体的に映像で示しており、生徒が家庭で読めない単語が出てきても参考になるという点で、東京書籍が優れていると感じています。

(部会長)

その他、いかがでしょうか。それでは、調査報告については、「東京書籍」としてよろしいですか。

(採択検討委員)

結構です。

(部会長)

それでは、外国語（英語）の調査報告は、「東京書籍」とします。

(16) 道徳

(部会長)

最後は、道徳です。調査部会教科代表からご報告お願いいたします。

(調査部員)

道徳は、「あかつき教育図書」を推薦します。あかつき教育図書は、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考えるための工夫が大変優れています。また、テーマがバランスよく配置されており、年間を通して構成や教材の適切な配置がされているとともに、ねらいに対する発問が精選されている点などが、生徒にとって扱いやすいものとなっています。

(部会長)

続いて、事務部会代表からご報告お願いいたします。

(事務部員)

事務部会推薦の発行者は、「東京書籍」、「日本文教出版」、「あかつき教育図書」の3者です。

主な推薦理由を3点ずつあげます。

東京書籍は、①難しい表現が少なく、分量も適切であるため、生徒にとって読みやすい点、②「自分だったらどうするか」など、自分の考えを書く欄が設けられている点、③1年生から3年生へと学年を追うごとに段階的に内容が濃くなり、活動的なケーススタディーのようなものが用意されている点です。

日本文教出版は、①各学年に、「あすへのメッセージ」が書かれており、親しみを持ちやすい点、②学びを深めるために、議論する方法が紹介されていたり、コラムが複数設けられていたりして、大変使いやすい点、③コラムの内容がかなり詳しく、具体的に自分の生活に生かしやすい点です。

あかつき教育図書は、①文字が適切な大きさと、イラスト写真が比較的多く、読み進めやすさがある点、②「自分との対話」で問いかけをするようになっており、自分の考え方や感じ方を整理できる点、③身近な題材が多く取り上げられていて、日常的に体感している内容から、様々な考えに結びつけやすい点です。

(部会長)

ありがとうございました。では、調査資料についてご質問・ご意見はありますか。

[質疑・意見]

(委員)

調査部会は、あかつき図書ということでしたが、子どもたちがどちらかという読み物として読んでしまいがちなものを、自分の心と会話しながら、あるいは人との価値観を共有させながら学ぶということでは、デジタルコンテンツとのつながりの中で工夫されているところはあったでしょうか。

(調査部員)

デジタルコンテンツですが、目次のところにスマートフォンのようなマークがあります。現時点ですべての教材が準備されているわけではないのですが、各ページを見るとタイトルの下に二次元コードがついています。ここから読み込んでいただくと、この教材に必要なデジタルコンテンツがでてくるようになっています。

まだ、すべてではないのですが、今用意されているものを見ても、授業の中でそれを使って話し合いが進むよう工夫されていますので、適切なデジタルコンテンツだと判断しました。

(部会長)

その他、いかがでしょうか。それでは、調査報告は「あかつき教育図書」としてよろしいですか。

(採択検討委員)

結構です。

(部会長)

それでは、道徳の調査報告は、「あかつき教育図書」とします。

6 質疑応答

(部会長)

全体を通してご質問、ご意見はございますか。

7 答申内容の原案決定

(部会長)

それでは、全体の確認を行います。

国語「光村図書」、国語（書写）「光村図書」、社会（地理）「帝国書院」、社会（歴史）「帝国書院」、社会（公民）「東京書籍」、「帝国書院」、社会（地図）「帝国書院」、数学「学校図書」、理科「東京書籍」、音楽（一般）「教育芸術社」、音楽（器楽合奏）「教育芸術社」、

美術「光村図書」、保健体育「東京書籍」、技術・家庭（技術）「東京書籍」、
技術・家庭（家庭）「東京書籍」、外国語（英語）「東京書籍」、
道徳「あかつき教育図書」

以上の調査報告（答申内容）をもって、この後の採択検討委員会に報告してもよろしいでしょうか。

【異議なし】

（ 部会長）

ありがとうございました。では、これを持って採択検討委員会に報告いたします。では、事務局よろしくお願いします。

8 閉会

（事務局： ）

部会長、ありがとうございました。

調査部員・事務部員の方は、こちらで終了となります。本日まで調査報告等作成をしていただき、ありがとうございました。

閉会后 16 時 35 分から、この場所で採択検討委員会全体会を行います。採択検討委員の皆様は準備ができるまで、こちらで待機をお願いいたします。

なお、皆様の任期につきましては 8 月 31 日までとなっており、情報公開されるまでは、委員の名前や審議内容も含め部外秘ですので、十分お気を付けください。

今後、教育委員会での審議に向けて、調査報告について再度ご質問させていただくこともあるかもしれませんので、宜しく願いいたします。

令和7年度使用教科用図書採択検討委員会<高等学校専門部会>議事録

日時 令和6年(2024年)7月17日(水)15時15分~16時25分

場所 横須賀市教育研究所 第2研修室

1 開 会

(事務局:)

本日は大変お忙しい中ご出席いただき、ありがとうございます。本会は、採択決定後、会議録が公開されます。正確な記録を残すために、本日の内容を録音させていただきます。ご承知いただけますでしょうか。ありがとうございます。では、録音させていただきます。

この会議は「教科用図書採択検討委員会条例」第4条の規則に従い、半数以上の委員の出席により成立いたします。本日は21名中21名の出席をいただいておりますので、これより会を始めさせていただきます。

2 教育委員会事務局挨拶

(事務局:)

教育委員会教育指導課長よりご挨拶いたします。

(教育指導課長:)

お忙しいところ、お集まりいただきありがとうございます。本日は、8月の教育委員会に提出する調査報告の作成をお願いいたします。

今回、目録に掲載されている教科書の中から、全日制、定時制ともすべての教科書を調査対象としていただきました。

このような膨大な数の中から、限られた時間で横須賀総合高校の生徒にもっともふさわしい教科書を調査する作業はとても大変なものであったと思います。

改めまして、調査部会員の皆様のご尽力に、心から感謝申し上げます。

また、第1回目の会において、採択基本方針の確認をいたしました。また、再度、公正確保と綿密な調査に基づく採択原案作成へのお力添えをお願いいたします。私の挨拶といたします。どうぞよろしく願いいたします。

3 専門部会長 挨拶

(事務局:)

続いて、部会長からご挨拶をいただきます。

(部会長)

本日は、お忙しいところ、お集まりいただきましてありがとうございます。この採択検討委員会ですが、課長の挨拶にもありましており、大変重要な会議となっております。ここで決定したことを8月15日に行われる横須賀市教育委員会臨時会に提案してまいります。そこで教育委員の皆様へ採択をしていただいで、晴れて使用できる教科書ということになります。そのための資料提供、そしてその内容の審議ということで、委員の方々からの様々なご質問もあろうかと思っておりますので、ぜひ真摯に答えていただいで、解釈を充実させていただければと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。

4 会議の進行について

(事務局：)

この後の会の進行について説明します。

一覧表の中で、ゴシック体、太字で表記してあるものは、これまで採択していた教科書を変更しようとする科目です。変更しようとしている教科書は1点、定時制の通し番号28 書道Ⅰのみです。その理由は、これまで使用していた教科書が、令和7年度は発行されないためです。

また、令和7年度については、定時制において、引き続き2つの教育課程が混在することになりますので、必要に応じて、従来の学習指導要領に基づいて編集された教科書を採択しようとしています。しかしながら、令和7年度使用の教科書目録によれば、従来の学習指導要領に基づいて編集された教科書の発行は19点のみにとどまり、多くの科目においては、該当する教科書が発行されません。発行される教科書がない場合には、現行の学習指導要領に基づいて編集された教科書を使用することとなります。

各教科の説明は、作成していただいた教科用図書一覧表の通し番号順にお願いいたします。

全・定ともに13教科ですので、科目の少ない教科は時間を短縮してご説明いただければと思っております。

工業・商業の教科については、時間の関係で、1科目ごとではなく、特徴的なもののみ、まとめて説明していただければと思います。

この後、目録をこちらから回覧していただきます。それぞれの教科で選定しようとするものに、を片仮名書きで、全日制のところ「ゼ」、定

時制のところに「テ」と印をつけておりますので、再度確認をお願いいたします。

それでは、この後の進行は部会長をお願いいたします。

5 調査報告

(部会長)

それでは、次第に沿って定時制から全日制の順で行います。

定時制の先生方は、この後授業がございますので、30分程度で説明していただき、その後、質疑応答を行い、確認ができた段階で退席していただきます。定時制は複数教科をまとめて審議します。

全日制は、委員からの説明を、教科ごとおおむね3分以内で行っていただき、その後一括で質疑を受け、決定とします。

説明は、採択選定理由書様式2に沿って行ってください。

この会で取りまとめたものを、この後開催される採択検討委員会で提案させていただきますので、全体が16時30分には終了するようご協力ください。

それでは、定時制の課程から審議を進めてまいります。定時制の先生、先生、説明をお願いします。

(1) 定時制

(調査部員： 調査部員)

定時制の教科用図書採択候補について説明します。定時制の教科用図書採択一覧表をご覧ください。

令和7年度につきましては、一部の4年次生が従来の課程に残り、ほぼ現行の課程に移行します。現時点で7名程度の生徒が従来の課程で残るという状況です。従来の課程の教科書の発行がほぼなくなる中、候補の一覧では、番号26と41は継続発行がございますので継続、ただし番号28番 書道Ⅰに関しては、これまで使用していた従来の課程の教科用図書が発行されなくなったため、従来の課程の唯一の教科用図書に「変更」とさせていただければと思います。

続けて、1年次から3年次までが使用する教科用図書につきましては、候補としては今年度と同じものを選定しております。その理由は、各教科で使用しているものが、スクール・ポリシーおよび指導の重点に基づいて、最もふさわしく、また使用している中で大きな問題もないと各教科担当で判断したからです。

次年度、1年次から3年次までの生徒の使用する教科用図書の採択候補につきましては、本年度と同様の希望として選定理由書を提出しています。よろしくお願ひします。

(部会長)

ご説明ありがとうございました。ただ今の説明について、ご質問等がありましたらお願ひします。

[質疑・意見]

(委員)

まず、冒頭課長の挨拶の中にもありましたが、調査部員の先生方、この非常に膨大な資料作成に時間を割いていただいたこと、大変だったと思います。小中学校に比べて高等学校は科目数も、それに伴う教科書の数も多いわけで、一つ一つに対してこれだけの理由書を作る作業にまず敬意を表したいと思います。

それから、今年度は継続する教科書が非常に多く、ほぼ全てということですがけれども、それだけ昨年度の選択に時間をかけた成果が出ているのだろうと考えます。変えることが悪いことではないと思いますが、それについては精査されているのかなということ全体を感想として思いました。本当にご苦勞様です。

1点、定時制に対する質問の前に、事務局にお伺ひしたいのですが、この理由書には「継続」、「新規」、「変更」というように3種類に分かれていますけれども、継続は理解できるのですが、新規と変更についてどう区別されているのかを教えてくださいということが一つ目の質問です。

もう1点は、5年次以上の、従来の課程の生徒に対しては従来の課程の教科書を使うということですがけれども、それが発行されない場合は、現行の課程の教科書でもいいと言われているわけですが、今回は書道Ⅰですが、これは従来の課程の教科書がある場合、従来の課程のものを使わなければいけないという縛りがあるのか、以上2点を事務局に質問です。

(事務局：)

1点目の新規と変更の違いについてですが、新規はこれまで採択をしてなかった科目の教科書を新たに採択しようとしているものです。今回

については、新たに設置しようとしている科目がないので、新規に採択しようとしているものではありません。

前年度、令和6年度使用教科書を採択する際には、3年次生向けのものがすべて現行の教育課程に基づいたものになりましたので、すべて新規になりましたが、今年度はそういったものはありません。次に変更については、これまで採択をしていた科目の教科書を採択せずに、代わりに別の教科書、今回の書道Iのような形で採択しようとしているものを変更ということで区別しています。

(部会長)

新規というのは、これまでに採択としていなかったか、もしくは指導要領が改訂になって、その改訂指導要領に基づいて新しく作られた教科書、そのどちらかの時にとということになります。

(委員)

去年は新規になった部分はあるけれども、今年度は新教育課程に関係ないから基本的には新規ではなくて変更という形になっているということで、わかりました。

(事務局：)

2点目の、従来の教科書がある場合に、現行の教科書を選ぶことについてですが、令和3年度まで入学した、先ほど7名ということで予定されているという生徒については、従来の学習指導要領に基づいた教育課程によって教育活動を行いますので、従来の学習指導要領に基づいて編集した教科書を使用することが原則です。教科書の発行がないものについては、現行のものを使用しますが、指導はあくまでも従来の学習指導要領に示す内容ということになります。よって、従来の課程のものがある場合には、そちらを採択しなければならないと解釈しています。

(部会長)

それは文部科学省の規定に示されているということでしょうか。

(事務局：)

はい。

(委員)

多分そうだろうと思いつながら、でも教える立場からすれば現行のものでもいい科目があるのだったら、それで行った方がみんな教科書が統一されてよいのではないかなという思いで質問させていただきました。

続けて質問です。定時制は何年まで在籍できますか。

(調査部員)

最大8年、在籍期間がございます。

(委員)

そうすると来年度以降もこういうことが起こる可能性があるかもしれない。従来のもものが継続して発行することは多分ないですかね。

(調査部員)

今の時点で来年度も在籍するという予定の生徒もおりますので、その場合にはもう従来 of 教科書がない中で、学習活動を行っていくしかないかなと考えております。

(委員)

合わせて、その際、要するに書道Ⅰ 27番と28番ですけど、内容的に大きな違いがあるのでしょうか。

(調査部員)

書道Ⅰに関しては、内容的に大きな変更はありません。

(委員)

そうすると、5年次以上の従来 of 課程 of 教科書を使う生徒と、現行 of 課程で新しい教科書を使う生徒が、基本的に同じ授業を受けるということでしょうか。

(調査部員)

はい。

(委員)

そうすると同じ授業を受けても、大きく、指導する側として配慮しな

くても大丈夫ということによろしいですか。

(調査部員)

はい。

(部会長)

今の 先生のご質問にあった従来の課程の教科書を使うことは、定時制ではこれからしばらく起こることと思います。その時に従来の課程の教科書がなくなっても、従来の課程の教科書の内容とかストックなどは教員が持っているので、新しい教科書を使いながら、従来の課程の部分を教員が補助資料を作るといようなことを行うということによろしいのでしょうか。

(調査部員)

おっしゃるとおりです。私は理科ですけれども、従来の課程と現行の課程で内容が異なっている部分があります。補充で必要な部分は、従来の課程の生徒にはその分の補充が必要だと思っておりますので、その指導は行うこととなります。

(部会長)

ありがとうございました。

それでは定時制についてご質問等、他にありますか。

[な し]

(部会長)

では、定時制の審議を終わります。定時制のお二人の先生、ありがとうございました。

(部会長)

では、続いて全日制の課程について審議を進めてまいります。

次第にある順番で進めてまいります。最初に、国語からお願いします。

(2) 全日制

① 国語

(調査部員)

1年次の必修科目である現代の国語と言語文化の2科目の教科書については、継続です。現代の国語は、第一学習社の『高等学校 精選 現代の国語』、言語文化は、第一学習社の『高等学校 精選 言語文化』を選定しています。どちらも、明確に示された「学習のねらい」に沿って、具体的な活動を通して表現力や他者と伝え合う能力の育成ができるよう教材が設定されています。また、どちらも巻末の「資料編」が充実しており、授業で活用する機会も多く、生徒の深い理解を促す一助となっていることから、引き続き選定しました。

2・3年次共通履修の選択科目である論理国語・文学国語・古典探究の3科目の教科書につきましても、継続です。本校の学習指導の重点「主体的に学習に取り組む態度の育成」にふさわしい教科書として、論理国語は、社会で生きるために必要な国語力を培うため、論理的な文章や実用的な文章を読み書きし、思考力や表現力を高めることに適した教材が、学習活動とともに配置されている三省堂の『新 論理国語』を選定しました。

文学国語は、我が国の言語文化に対する理解を深めるための知識・技能を体系的に学習できる数研出版の『文学国語』を選定しました。それぞれの作品の「作者解説」のページでは、学習した作家・作品に関連した書籍が紹介されており、教科書や授業から離れた場面での読書を促す契機として活用できます。古典探究は、時代・分野ともに教材がバランスよく掲載されており、段階を踏んで学習を進められるとともに、「古文の窓」「漢文の窓」でその単元にちなんだ内容のコラムが配置されており、多様な角度から関心を高めて読み深めることができる東京書籍の『新編 古典探究』を選定しました。

(部会長)

ありがとうございました。では、地理歴史科お願いします。

② 地理歴史

(調査部員)

地歴科は一昨年から開講した歴史総合、昨年度から開講している地理総合、世界史探究、日本史探究、今年度から開講する地理探究の5科目です。

歴史総合を学ぶ意義は、生徒が歴史と向き合い、「私たち」にとってよ

りよい社会の実現を視野にして「現代的な諸課題の形成」について理解し、その解決に向けて取り組むことにあります。その実現に向けて、現代的諸課題と歴史的関係について考察するための豊富な史資料が記載されており、メインクエストの解決に至るサブクエストが設けられて一つのテーマについて見通しを持ちながら他者と協働して学習に取り組むことができる山川出版社の「現代の歴史総合 みる・読みとく・考える」を継続して選定しました。

地理総合は、自学自習の精神の確立にふさわしいものとして、写真や図表と因果関係が分かりやすく、地理的な見方・考え方を働かせた学習ができるという理由で、帝国書院の「高等学校 新地理総合」を引き続き選定しました。

歴史的分野の探究科目では、本校のスクール・ポリシー、自学自習の精神の確立を鑑み、知識・技能・と思考・判断力を身につける学習、自学自習のしやすさを考慮しました。また、生徒が課題意識をもって主体的に学習に取り組めることや、歴史総合との接続が意識された記述が設けられていることから、世界史探究は実教出版の「世界史探究」、日本史探究は山川出版社の「詳説日本史」を継続して選定しました。

地理探究は、本校のスクール・ポリシー及び、自学自習の精神の確立という本校全日制の学習指導の重点にふさわしいものであること、豊富な写真や図表によって、地理的な見方・考え方を働かせた学習ができること、また最新の具体事例を数多く扱うことで、興味関心を高め、理解を深める工夫が成されていること、さらに系統地理の分野と地誌の分野の基礎的な知識を網羅したうえで資料や様々なコラムを作品と合わせて用いることで発展的な学習に無理なく進められるように工夫されていること、内容が精選されていることから、帝国書院「新詳地理探究」を継続して選定しました。

(部会長)

ありがとうございました。続いて公民科お願いします。

③ 公民

(調査部員)

公民科は公共、倫理、政治経済の3科目となっております。

まず、「公共」ですが、この科目に関しては、2年次生が全員履修することとなります。図版や写真などが本文上部にまとめて記載されており、

本文に関連する資料が見やすく、また、中学校で学習した用語には赤下線が引かれていて、中学校公民とのつながりが重視されています。合わせて、現代社会における諸課題を考えるためのトピックが多いので、数研出版「新版 公共」が本校生徒に最も適していると判断し、本書を継続して選定いたしました。

次に、「倫理」です。3年次生のみを選択科目である倫理は、単元の始めに学習の観点を示したリード文と問いかけが記述されている点、各ページ右端に単元の学習観点がまとめられている点、また、多面的な視点で全体を把握することができる点から本校に生徒に適していると判断し、実教出版の『詳述倫理』を選定いたしました。

最後に、3年次生のみを選択科目である「政治経済」です。適切な地図やグラフなどが豊富に掲載されており、本文記述も分かりやすく、さらに最新の社会問題なども興味・関心が持てるよう工夫されている清水書院の「高等学校 政治・経済」を継続して選定いたしました。

(部会長)

ありがとうございました。続いて、数学科お願いします。

④ 数学

(調査部員)

今年度から、すべての年次で、現行の課程になっています。1年次から3年次まで、数学Ⅰ・A・Ⅱ・B・Ⅲ・Cで数研の新編を使用しており、すべて継続としました。

この教科書は、全体的に、基礎問題から応用問題まで段階的に学習できるよう工夫されています。生徒にとって、とても学習しやすい教科書になっており、本校のスクール・ポリシー及び自学自習の確立という本校全日制の学習指導の重点にふさわしいものと考えられるので、選定しました。それ以外の理由としては、3点あります。

1点目は、問題の解説が初学者にとって具体的でわかりやすくなっている点です。

2点目は、補充問題が充実していて、デジタルコンテンツなど、新しい要素も取り入れられており、自学自習にもつながる点です。

3点目は、例題と解答のレイアウトがとても見やすく、配色や図の示し方などが工夫されている点です。

以上の理由で選定しました。

(部会長)

ありがとうございました。次に理科、お願いします。

⑤ 理科

(調査部員)

物理、生物、化学、地学の4領域ございますが、いずれの分野の教科書も目録にある全ての教科書を対象として検討いたしました。本校のスクール・ポリシー及び自学・自習の精神の確立という本校全日制の学習指導の重点にふさわしいものという共通の観点に沿って、生徒の興味・関心を喚起できるか。自学・自習の助けとなるか。資料が明確で理解の助けになるか等の観点から選定を行いました。その結果、今年度、新規に選定した教科書はありません。

継続使用の教科書としては1年次の必修修科目として24番実教出版「化学基礎」の1冊を選定いたしました。2・3年次の必修選択科目として22番啓林館「高等学校物理基礎」、26番数研出版「高等学校生物基礎」、28番第一学習社「高等学校地学基礎」、21番実教出版「科学と人間生活」の4冊を選定いたしました。2・3年次の選択科目として25番実教出版「化学 academia」の1冊を選定いたしました。3年次の選択科目として選定した23番の啓林館「高等学校物理」、27番第一学習社「高等学校生物」の2冊を加えて合計8冊を継続利用する教科書として選定いたしました。

(部会長)

ありがとうございました。次に保健体育お願いします。

⑥ 保健体育

(調査部員)

3冊の候補の中から、大修館出版「新高等保健体育」を選定しました。見開き2ページで1単位時間分の内容にまとめられているため、生徒にとって学習しやすくなっています。さらに、授業で得た知識を活用し、実生活に結び付けられるよう学習課題が提示されています。また、グループ活動で健康課題に対し議論することができるなど、主体的・対話的で深い学びに向けたものとなっており、生徒の学習を深められるものとなっています。そのほかにも、豊富なイラストや図表・写真の配置がと

ても見やすく、学習しやすく構成されています。以上のことから引き続き選定いたしました。

(部会長)

ありがとうございました。続いて芸術科お願いします。

⑦ 芸術

(調査部員)

はじめに音楽について説明します。1年次の必修選択科目の音楽Ⅰ、2年次生が次年度に選択する音楽Ⅱは継続の教科書になります。いずれも生徒の習熟度に応じながら主体的に学習していくのに最も適していると判断し、引き続き選定しました。

現2年次生が次年度に選択する音楽Ⅲは、より主体的な学習に取り組みますので、発展的にも一番適しているということで選定しています。この点を踏まえ、一番適切であると判断し教育芸術社の「Joy of Music」を継続して選出しています。

次に美術について説明します。1年次の必修選択科目の美術Ⅰは、継続の教科書になります。具体的なプロセス例が多く掲載されている光村図書「美術1」が、己の主題を見つけ出し、自ら調べ制作へ向かうことのできる本校生徒にとって、授業における主体的・対話的な学びを進めていくうえで最も適していると判断し、引き続き選定しました。

最後に書道について説明します。1年次の必修選択科目の書道Ⅰ、新2年次生が次年度に選択する書道Ⅱは、継続の教科書になります。いずれも生徒の学習意欲を引き出し、効果的な学習ができることから、継続して選定しました。

現2年次生が次年度に選択する書道Ⅲで選定する教育図書の「書Ⅲ」は、作品の表現効果や書の伝統を意識させる内容が特徴的です。また、図版は非常に豊富で学習の幅が広がるように工夫されている点から適切と判断し、継続して選定いたしました。以上です。

(部会長)

ありがとうございました。続いて、外国語お願いします。

⑧ 外国語

(調査部員)

まず、本校の教科テーマは、「外国語によるコミュニケーション能力4技能向上のための言語活動の工夫・改善」、「世界の多様な文化をもった人々と協働できる人材の育成」です。

英語コミュニケーションⅢについて説明いたします。英語コミュニケーションⅢは3年次の生徒が選択科目として履修いたします。

英語コミュニケーションは、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの4技能に加え、「話すこと」をさらに「やり取り」と「発表」の2つと捉えて5領域とし、言語活動を通じて5領域を総合的に扱うことを一層重視する科目として創設されました。この創設の意図を十分に踏まえ、4技能5領域を意識した統合型活動が適切に設けられ、様々な分野のテーマを身近な話題を切り口に、本校の生徒が関心・意欲を高く寄せながら読み進めることができるようになっていくことに加え、読んだ後には、生徒の思考力、判断力、表現力を伸長できる活動が設けられていることから、また学びの連続性を考慮し、既習事項からより発展的に学習ができるように数研出版「BLUE MARBLE English CommunicationⅢ」が本校生徒に最も適していると判断し、本書を選定いたしました。

論理・表現Ⅱは2年次、論理・表現Ⅲは3年次の選択科目になります。論理・表現は、話すこと、書くことを中心とした発信力を強化するため、統合的な言語活動を通じてスピーチ、プレゼンテーション、ディベート、ディスカッションなどを扱う科目として創設されました。この創設の意図を十分に踏まえ、「やり取り」「発表」「書く」の3領域を明確に意識させた活動がバランスよく配置されている点や、本校の生徒が学習したことを「目的・場面・状況」に応じて適切に使うことができるように工夫されている点で、また学びの連続性を考慮し、既習事項からより発展的に学習ができるようにデザインされています。大修館「Genius English Logic and Expression I, II, III」がインプットの量、コミュニケーションにつながる文法力、豊かな表現活動を段階的に学習できる内容となっていると判断し、本書を選定いたしました。以上です。

(部会長)

ありがとうございました。次に家庭科、お願いします。

⑨ 家庭

(調査部員)

家庭科は、家庭基礎、ファッション造形基礎、フードデザイン、保育

基礎の4科目です。すべて継続です。

家庭基礎は、1年次の必修修科目で、実教出版の「家庭基礎 気づく力 築く未来」を選定しました。「自立の4要素」や「グローバルな視点」という2つのキーワードが随所に見られ、生徒がSDG sを意識して自立を目指すための内容が工夫されており、本校が取り組んでいるESD(持続可能な開発のための教育)と自学自習の精神の確立という学習指導の重点にふさわしいものとして、引き続き選定しました。

ファッション造形基礎、フードデザイン、保育基礎の3科目についても、実教出版の教科書を引き続き選定しました。

基本的知識や技術の習得に加え、職業人として必要な基礎的な資質・能力を習得できる内容になっており、本校生徒に適していると判断し、継続して選定しました。

以上です。

(部会長)

ありがとうございました。続いて情報科、お願いします。

⑩ 情報

(調査部員)

情報科は、1年次で必修で受ける『情報Ⅰ』、2・3年次で選択をする『情報の表現と管理』、『ネットワークシステム』の3科目になります。すべて継続です。

『情報Ⅰ』は、人工知能・IoT・不正アクセス・情報漏洩についても取り扱いがあり、暗号化はイラストで平易化されていること、また、情報社会・デジタル・ネットワークの内容が单元ごとにまとめられており、深く理解させる内容も網羅しているところを評価し、実教出版「高校情報Ⅰ Python」を継続して、選定いたしました。

『情報の表現と管理』は、学習指導要領に沿った内容の文章に加え、図や写真を多数取り入れて、理解度が深まるように工夫し、解説しているところを評価しました。情報を表現するために必要な知識と技法を段階的にわかりやすく記述しているところも評価し、実教出版「情報の表現と管理」を選定いたしました。

『ネットワークシステム』は唯一、文部科学省著作教科書として発行されているもので、内容的にも必要な知識をわかりやすく記述していることから学習に適していると評価し、実教出版「ネットワークシステム」

を選定いたしました。以上です。

(部会長)

ありがとうございました。続いて、工業科お願いします。

⑪ 工業

(調査部員)

製図、機械工作、自動車工学、電子機械、建築構造、建築計画、デザイン実践、デザイン史それぞれ、昨年度からの継続という形になります。

いずれも写真や図が豊富で見やすい点や口絵や巻末が充実している点、また、各単元の並びと繋がりがよく、生徒が理解しやすい工夫がなされています。

どの教科書においても、本校生徒の選択科目として理解を深めていくことに適していると思います。また、興味関心を深めて学習できるように工夫されている内容で基礎・基本の習得と思考力・判断力・表現力を養っていくために適切であると判断し選定しました。以上です。

(部会長)

ありがとうございました。次に、商業科お願いいたします。

⑫ 商業

(調査部員)

商業科は「ビジネス法規」「観光ビジネス」「財務会計Ⅰ」「原価計算」について説明します。

東京法令出版「ビジネス法規」は、課題解決意識を持って学習に臨めるように工夫がされていること、またビジネス活動における新たな課題に対して生徒同士が協働学習を通して思考力を深める学習内容となっていることから、本書を選定しました。

次に、東京法令出版「観光ビジネス」ですが、観光への取り組みがわかる実例と写真が多く掲載されているので、生徒が興味・関心をもって学習を進めることができる点、また主体的・対話的で深い学びの実現につながる問題が各所にあり、観光ビジネスに関わる思考を深められるように工夫されていることなどから、本書を選定しました。

実教出版「新財務会計Ⅰ」は、図表が多く取り入れられており、文章の表現も平易かつ簡潔で丁寧にわかりやすく書かれていること、また重

要な会計処理手続きについて関連する法令や会計基準の説明がなされ、手続きの根拠を理解する工夫がされていることなどから、本書を選定しました。

最後に実教出版「原価計算」は、図解などで色分けされているため視覚的にも理解しやすく記帳体系の流れや学習内容がイメージしやすいこと、また、グループワークや調べ学習の課題も掲載されており、思考を深める工夫がされている点などから、本書を選定しました。以上です。

(部会長)

ありがとうございました。最後に福祉科、お願いします。

⑬ 福祉

(調査部員)

社会福祉基礎、生活支援技術、こころとからだの理解、コミュニケーション技術の4科目、すべて継続となります。教科書目録に記載されている教科書は1冊なのですが、どの教科書においても、身近で豊富な事例が示されていることで、主体的に学習に取り組むように促し、職業人としての資質を身に付けられるように工夫されています。また、最新の資料が数多く使われており、図表も大変見やすく配置されていることから、本文の内容が理解しやすく、本校生徒が基礎的な知識や技術を習得し、思考を深めていくために適切であると判断し、選定しました。以上です。

6 質疑応答

(部会長)

ありがとうございました。以上13の教科で報告をしていただきました。これから質疑応答に入ります。

(事務局：)

事務局から1点、資料の訂正をさせていただきます。お渡しした資料の42ページですが、「英語コミュニケーションⅡ」の書名が「BLUE MARBLE English Communication I」になっております。こちら「Ⅱ」の間違いですので、お詫びして訂正させていただきます。

(部会長)

では、審議に戻ります。全体を通してご質問ご意見をいただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

(委員)

定時制の方で話題があったことと関連しますが、全日制は何年まで在籍が可能なのでしょうか。

(委員)

6年です。

(委員)

定時制は5年次生がいたということですが、今年度、全日制ではそれに該当する生徒はいないということによろしいですか。

(委員)

はい。

(委員)

わかりました。続いて、特に情報とか工業とか福祉などの科目については、教科用図書は一つしかない、「唯一の教科書である」という中で選定をされているわけですが、変な話、今回は皆ふさわしかったということで選定されていますが、ふさわしくなかった場合に、これを選ばないということは可能なかどうかということ、あるいは、一つ選ばなくてはならないので、やりにくさが正直あるのではないかと思うのですが、何か工夫されていることがあれば、教えていただければと思います。抽象的な質問申し訳ありません。

(部会長)

文部科学省の検定を通っている教科書ですので、ふさわしくないということはほとんどないとは思いますが、先生方はそれぞれどのように工夫をされているかといったところの事例を少しお話しいただけるのがよいのかなと思います。時間もありますので、私の方で指名をさせていただいて、お答えいただいてもよろしいでしょうか。先生、国語ではどうでしょうか。

(調査部員)

国語では使いづらいことはないのですが、他の教科書のこれがこの教科書にあったらいいのに、というものはありました。しかし、例えば論理国語とか文学国語では二次元コードで補助的な資料を示してくださる教科書も多いですけども、本校はそれを選定してしまして、例えば作品についての補助的なものとか、語句の説明とか、朗読CDのような形で再生できるような機能もついておりますので、そういうもので補填しながら授業を行ったりしております。以上です。

(部会長)

ありがとうございます。もう一つ実技系で聞いてみたいと思いますが、情報の 先生、いかがでしょうか。

(調査部員)

ネットワークシステムですけども、やはり文部科学省著作教科書ということで信頼をして選定をしていて、ただ今年度選択している生徒がいなくてまだ開講していないので、実際にこの教科書を使った授業はまだしていないのですが、もしこれがあったらいいのになってというのは当然あると思いますので、そこでは補助的なものを取り入れて、授業を行っていかうと思っております。

(委員)

今、お答えいただいた49の情報ネットワークシステムですが、文部科学省の著作教科書として示されています。ネットワークシステムの教科書に類するような文部科学省の著作教科書を見てみると、最近の教科書はどれも色鮮やかで見やすく工夫されているのに対して、この文科省著作教科書はかなりシンプルで、そういう意味で、生徒の興味を喚起することが難しいことはないかと感じましたが、何かお考えがあればちょっとお聞かせください。

(調査部員)

その場合には、プリントやスライドを使って授業を行うので、図を工夫するなど、生徒に分かりやすいように工夫をしています。確かに、図が少なかったり、色鮮やかでなかったりするところはあると思っております。だからと言って、使いづらいということはないので、授業者の工

夫だと思います。

(委員)

内容的には網羅されているので、それをどのようにわかりやすくするか、教員側の授業プランによって補充できると考えているということですか。

(調査部員)

はい。

(委員)

では、続けて種目番号9番 日本史探究ですけれども、版の大きな教科書を使っているということの一つの選定理由にされていますが、教科書の大きさに関するメリット、デメリットをどのように考えられていますか。

(調査部員)

まず大きな変更点としては、日本史は、従来の課程の日本史 B から、現行の課程では日本史探究という形になりました。教科書のサイズが大きくなり、史資料、特にイラストや史料文等が従来の課程の教科書よりも多く掲載されるようになりました。その理由としては、各テーマに大きな問いが設けられるようになっていて、その問いを解決していくための必要な資料ということで、資料が豊富になったということです。

以前までは説明としての記述の部分がメインになっていたところに、図などが掲載されることによってグループワークが円滑にできるようになったと感じております。

デメリットとしては、今年度の3年次生は受験で問われることになりましたが、まだ実際に受験をしていないので、まだその判断をしかねるところです。実際私が教えていて感じるころは、知識量という面では覚えるべき単語の数が従来の課程よりも少なくなりました。覚える量が少なくなった分、話し合いに当てるようになりましたが、やはりその前提知識がない中で話し合っても、上手くグループではまとめられないということが、実際の授業の中で生じてしまっていたので、先ほどの話にも上がっていましたが、その点は、教師が補助的な資料を掲示するなど、対策をしていきたいと思っております。

(委員)

教科書の大きさについては、机の上に乗るのか、書くスペースと教科書のスペースとのバランスがどうかを単純に考えたんですけれども。

(委員)

特に問題はないと思います。

(委員)

わかりました。サイズについては、例えば理科などは、かなり小さい版から大きな版まで様々なサイズがあると思いますが、その大小関係が選考理由になることはないのかということ、国語はなぜB4なのか、つまり、字の大きさとか資料の大きさから考えるなら、A4の方が見やすいと単純に考えたんですけど、教科としての特性があるならば、教えていただければと思います。

(調査部員)

理科はサイズが大きくなっても内容的に増えるわけではなく、かえって大きな版は図が少なく簡便なものになってしまっていることが多いので、小さな版の方が内容的には本校に合っているということで選定しました。

(部会長)

大きさではなくて、内容で選んでいるということですか。

(調査部員)

そうです。図版がただそのまま拡大されているだけで、図が詳しくなったわけではありません。

(部会長)

国語はいかがでしょうか。

(調査部員)

国語は開いてA4になるサイズがほとんどです。手のひらサイズが読みやすいという個人的な考えもありますが、資料集も今までは開いてA

3になるタイプのものが多かったのですが、だんだん小さくなっていて、最近では教科書と同じサイズのもがよく出てきていると感じています。今、デジタル版というものもあって何年か前はそういう副教材で採用していたりしました。大判で示さなければいけないものが二次元コード化されて、それを生徒が好きな時にいつでも見られるようになってきているのがちょっと現代なのかなと思い、それらも含めて選定するように心がけています。

(委員)

教科書としてはかなり厚いものが多いですが、サイズが大きくなったら薄くなるかという、そうでもない気がします。教科書の大きさを記載されている教科があったので、そこは検討されているのかなと感じて、質問させていただきました。

続けて、教科書会社の継続性というところで伺います。例えば種目番号 26 番の生物基礎と 27 番の生物についてですが、物理関係は教科書会社と同じですけれども、生物については別の教科書会社になっているということで、この辺について何か不便さというか、整合性のなさや、やりにくさというのはないかという質問です。

先ほど英語では、論理・表現ではⅠ、Ⅱ、Ⅲと同じ教科書を使うことで継続的な担保が図られているというご説明がありましたが、生物と生物基礎との関係性というのは、どのようなものなのか気になり、質問させていただきます。

(調査部員)

物理、化学、地学などの計算を要する分野は、対義語や公式のまとめ方、定義のまとめ方等に差があるので、同じ教科書会社を使わないと継続性が悪いことがあります。生物についてはあまり計算を要さず、事象についての説明が非常に多いので、よりよいもの、よりその単元で素晴らしいものと考えますと、特に教科書会社と同じでなくても大丈夫だと考えています。

(委員)

ありがとうございます。社会科で言うと、社会科の歴史総合から日本史探究は同じ教科書会社で連続性という話がありましたが、世界史については教科書が違ってても特にその辺は問題ないということでしょうか。

(調査部員)

現状、特に問題はなく、授業もスムーズに行えています。

(委員)

社会科では学習指導要領に記載されている中身が書かれている教科書として、内容的に継続性を担保しにくいようなものはないと考えてよろしいですか。

(調査部員)

そうです。本校が選定する実教出版は、生徒の知識の習得能力などを鑑みても、専門的な知識をインプットしてそれをアウトプットができる教科書ということで教科書会社は違いますけれども、生徒の実情に合ったものだと判断して選定しております。

(委員)

ありがとうございます。最後の質問ですが、種目番号 17 番 21 ページの数学Ⅲで、選定理由書に「生徒が二次元コードを読み取るだけで、インターネットにリンクし」と書かれており、そこを読み取れば、自分で学習する材料が出てくるとのことですが、これを使っている生徒ってどのぐらいいるかリサーチしていますか。

(調査部員)

リサーチはしていませんが、実際に読み取ってアクセスすることで、資料や、イメージを持つことができるコンテンツが含まれていまして、実際、授業内でスマホをかざしてというように行っているわけではないのですが、このようなことができるという紹介をしたり、また授業内ではデジタル教科書でそのようなことを視覚的に教師側が行なっていることはあります。

(委員)

そうすると、選定理由書の中で、この教科書を選定した理由が二次元コードを読み取って発展的な教材で学習できることであるならば、それは積極的にPRして、生徒が利用したかをリサーチしないとこの教科書を使った理由がないのではないかと思います。少なくともどのぐらいの

利用率があるのかということ調査する段階の中で、やっぱりこれがあるからこの教科書を選ぶというところにつながるのではないかと思うので、その後の追跡調査も必要ではないかと思っています。

合わせてこの部分で、先ほど数学の説明の中でもありましたが、やはりわかりやすさとか、例題が精選されているとか、公式の証明が具体的である、ヒントがあるなどということが選定理由の中に入っている、いずれも与えられた問題に対してどう理解していくかというところかなりフォーカスされていると思います。

一方で、選定理由書の中に、発展的な内容に興味を持って自ら学習するという記述もあり、今後の方向性としては、やはり自分で追究していくような生徒を育てたいということだろうと思います。わかりやすく説明されているものや与えられたものをこなしていくだけではなく、自分から新しいものにチャレンジしようとする生徒を育てる、それがスクール・ポリシーにある自ら学ぶということにつながると思います。中学校でもこの視点で授業改善がなされている中で、高等学校でも「こんな授業改善の事例がある」ということがあれば、教えてください。

(調査部員)

はい、教師からの一方的な授業ではなく、グループワークなどを取り入れて、生徒同士が一つの発問、また、教科書の題材を基に思考して、考えを発表してというような形で、深い学びにつながる授業展開も実践しています。さらに同じ数学科の教員同士でも情報交換をしながら、そのような授業をしていきたいと考えています。

(部会長)

校長として一言補足をさせていただくと、昨年、すべての先生方の授業を拝見させていただきました。数学も見ましたが、「工夫」という点については、提示された問題に対して、正しい答えが出せる力も当然必要で、その指導もされていましたが、生活の中にある題材を取り上げて、それをビデオ教材的に見せて、その中で出てくる数学的な課題を取り出して、みんなで考えるといった工夫をされている授業もありました。

数学は受験科目では重視されるところで、受験で点数が取れるようにということも当然必要なことだと思いますが、一方では、生活に根ざしたところから考え、数学がいかに生活に活用されているのか、役立っているのかという理解につながるような、そのような授業もありました。

これからもいろいろと考えて、授業実践されると思っています。

(部会長)

では時間も迫ってまいりました。委員の皆様一言ずつお話をいただきます。 さん、いかがでしょうか。

(委員)

ご苦労様でございます。

教科書の選定理由とは違う点で気になったことがありました。校長先生にお聞きするのか、文部科学省にお聞きするのかわからないのですが、商業の授業でビジネス基礎とか、マーケティング、ビジネス法規がある中で、「観光ビジネス」という一つの業界について学ぶ授業があるというのは、これから日本は観光立国として生きていく、観光に特化していくという舵切りがあるのでこのような授業があるのか、と単純に疑問になりました。以上です。

(調査部員)

そのとおりです。当時この科目を設定した理由として、やはり観光立国を目指す、インバウンドも増えてきた、という背景もあり、日本としては生産よりも観光にシフトをしていこう、というのが当時の理由だと聞いたことがあります。

(委員)

何年ぐらい前からこのような動きになったのですか。

(調査部員)

おそらく 15 年ぐらい前だと思います。

(委員)

ありがとうございます。

(部会長)

多分、あの議論はそれぐらいから始まって、平成 30 年度に現行の学習指導要領に改訂され、そこで初めてこの科目が設定されました。その前から色々な議論がされていきました。

(委員)

ありがとうございます。

(部会長)

さんいかがでしょうか。

(委員)

感想です。今回初めてたくさんの高等学校の教科書の展示を見させていただいて、正直、内容的には全くわからず、色が鮮やかとか字しかないとか、その程度しかわからなかったのですが、その中から先生方がスタイル・ポリシーに基づいて選定していただきました。もっと子どもに教科書を大事に、たくさん見るようにと伝えて、先生方のおかげでたくさん学べたらいいなと思いました。今回、一生懸命、生徒たちのために選んでいただいてありがとうございます。

(部会長)

この委員の中に保護者の方に入っている一つのねらいとして、我々教員がどういう思い、コンセプトで教科書を選定しているかということをぜひ知っていただきたいということがあります。さんもし違う場面で他の保護者の方にお話しただけの場面がありましたら、ぜひよろしくお願いします。

(委員)

正直、こんなに大変な思いをして先生方がやってくださっていると思わなかったので感謝しています。

(部会長)

ありがとうございます。

他の方はよろしいでしょうか。時間的にも大分詰まってまいりましたので、これで質疑応答は終了したいと思います。どうもありがとうございました。

7 答申内容の原案決定

(部会長)

それでは、答申内容の原案決定を行います。ただいまの審議を経まして、この内容で採択検討委員会に報告したいと考えますが、皆様よろしいでしょうか。

[はい、という声あり]

異議なしと認めましたので、この内容をもって採択検討委員会に報告いたします。それでは進行を事務局にお返しします。

8 閉会

(事務局：)

部会長の 先生はじめ、皆様ありがとうございました。

調査部員の方は、ここで終了です。本日まで調査報告等作成をしていただき、ありがとうございました。

閉会后、16時35分から第1研修室で採択検討委員会全体会を行います。採択検討委員の皆様は準備ができるまで、こちらで待機をお願いいたします。

なお、くれぐれもお願いいたしますが、皆様の任期は8月31日までとなっており、情報公開されるまでは、委員の名前や審議内容も含めて全て部外秘ですので、情報の取り扱いには、十分お気を付けくださるようお願いいたします。

今後、教育委員会での審議に向けて、調査報告について再度ご質問させていただくこともあるかもしれませんので、その際はご協力をよろしくお願いいたします。

令和7年度使用教科用図書採択検討委員会 特別支援教育専門部会議事録

日時 令和6年(2024年)7月17日(水) 15時30分～16時30分

場所 横須賀市教育研究所 会議室

1 開 会

2 教育委員会事務局挨拶

教育委員会教育指導課長

3 専門部会長挨拶

特別支援教育専門部会長 市立ろう学校校長

4 調査報告(進行:部会長)

(1) 養護学校(小学部・中学部)

(養護学校調査委員)

養護学校は現在小学部26名、中学部9名、計35名の肢体不自由を中心とした障害のある児童生徒が通学している。児童生徒の多くが車いす等を利用して生活しているが、個々の課題は様々なため、選択する教科書は異なる。

今年度は、読んで実践したくなるような内容のもの、視覚や聴覚など様々な感覚を使って楽しむものが多く選ばれている。昨年度と違い、工作や標識など、生活の中で実践したくなるような附則9条本(以後、「一般図書」と表記する。)が増え、その種類も広がっている。

また、文字や音声言語のみでイメージをすることが難しい児童生徒のために、実際に手や物を動かしながら楽しめるもの、音や手触りを楽しめるもの、仕掛けによって諸感覚を使って学ぶことができるものが多く選ばれている。

(2) ろう学校(小学部・中学部・高等部)

(ろう学校調査委員)

児童生徒の在籍数は少ないが、子どもの実態が異なるため、児童生徒の目指す姿や、そのために必要な学習内容について学部、教科担当、担任で話し合い、各教科書を選んでいる。

また、前年度の担任及び教科担当者の意見も参考にして選択している。次年度入学予定の児童が使用する教科書についても同様である。次年度の教科書も、一人一人の実態に合ったものを選択できたと考えている。

(3) 特別支援学級

小学校

(小学校調査委員)

文部科学省著作本(以後「☆本」と表記する。)については、国語が2冊、算数が3冊、一般図書は、国語が11冊、算数が8冊、図工、道徳がそれぞれ1冊だった。

一般図書は、同成社「ゆっくり学ぶ子のための」シリーズ、こぼと出版「ジャンプアップ」や「ステップアップ」シリーズへの採択希望が多かった。

採択希望があった一般図書は、児童の発達段階に合わせて、スモールステップで言葉、文字、数、数字の習得がなされるように工夫されていた。また、文字が大きく、挿絵も多く、色彩豊かで、生活に即した内容で構成されているため、児童が興味を持って楽しく学べる内容になっていた。

中学校

(中学校調査委員)

☆本は、国語、数学、社会、理科、職業家庭で数件の採択希望があった。日常生活や学校生活に生かせるように、事例に沿った内容で、挿絵や図が多く生徒の学習意欲を高めやすいつくりになっていた。また、知的障害の生徒を対象に作られているため、学年に関係なく、理解度や生徒の障害の状態に合わせて使うことができることも採択希望の理由と思われる。

一般図書は、国語、数学、社会、理科、美術、家庭、英語において採択希望があった。「くらしに役立つ」シリーズは、前年度と同様に採択希望が多くあり、4教科で希望が出ていた。社会参加や自立を目指す特別支援学級(以後、「支援級」と表記する。)の生徒に、実生活に沿った内容を学習してもらいたいという願いが採択希望に反映されていると考えられる。構成は、イラストが多く日常をイメージしやすく、また、一つの項目が長文になりすぎないような配慮がされている。また、アニメのキャラクターを用いた教材や、タッチペンを使用して音声が出るような作りの一般図書も採択希望に出ており、学び方の多様化が伺える。

5 質疑応答

(1) 養護学校(小学部・中学部)

(検討委員)

各教科多くの採択希望を出しているが、それぞれの児童生徒に合わせたものか。

(養護学校調査委員)

はい。Aさんに対しては、Aさんの国語、Aさんの算数、理科というように教科書を選んでいる。

(検討委員)

例えば国語の授業では、一人ずつ教科書があり、個別に指導しているのか、グループ学習を併用することもあるのか。教科書は実際に授業でどの

ような使われ方をしているのか。

(養護学校調査委員)

教科書は個別で使用する人が多いので、子どもに合ったものを選んで
いる。グループ学習を検討する場合は、同じ教科書の採択希望を出すこと
も考えられる。

(検討委員)

生活科などは冊数が少ないが、何人かで同じものを使うのか。

(養護学校調査委員)

生活科は1年生と2年生のみの教科のため、冊数が少ない。3年生から、
算数、理科、社会をそれぞれ1冊ずつ使用している。

(検討委員)

子どもに合わせて教科書選択していると理解した。☆本についても、子
どもの状況によって採択希望を出しているのか。

(養護学校調査委員)

養護学校では、令和5年度から校内で☆本の展示を始めた。☆本は☆の
数によって内容が変わるため、担任は子どもの状況を踏まえ、採択希望に
ついて検討している。☆本の採択希望は前年度から増えてきている。

(検討委員)

先生方が一人一人の子どもたちに合った教科書を選択していることが伝
わってきた。同じ一般図書でも複数の教科に渡って選択されたり、小学校
でも中学校でも選択されたりするもの多かった。同じ本でもねらいをどこ
に置くかで様々な使い方ができるのだと感じた。

同じ教科書を次年度もまた使用したい、シリーズで揃え年間を通して
使用したいと思われた場合は、どのように対応しているのか。

(養護学校調査委員)

同じ教科書を次年度も使用する場合は、学年末に持ち帰る際、担任から
保護者にその旨を伝え、引き続き使用する体制をとっている。シリーズで
揃え多くの児童生徒が使用する場合は、学校図書館で希望を出す、各教科
の教材として購入するなど、相談して決めている。

(2) ろう学校 (小学部・中学部・高等部)

(検討委員)

一般図書は小学部から採択希望が出ているのだと思うが、中学部はどう
か。

(ろう学校調査委員)

中学部は、ほとんどの生徒が通常の学級と同じ内容を学習しているため、検定本を使用している。

(検討委員)

小学部で一般図書を使用した児童は、中学部で検定本を使用するという考え方か。中学部でも一般図書を使用した方がよいと検討することもあるのか。

(ろう学校調査委員)

小学部で検定本を使用している児童は、中学部でも検定本を使用している。一般図書を使用している場合は、学部間で話し合い採択希望を出すことになる。

(検討委員)

ろう学校の今年度の在籍数は、小学部の1年生3名、3年生1名、4年生1名、中学部は3年生1名である。そのため、中学部は令和7年度の採択希望を出していない。

ろう学校では一般図書の採択希望数は少ないが、希望を出しても廃盤になっていることがある。児童生徒にふさわしい教科書を選択するために検討しても、書店には並んでいるが廃盤になっているため、採択できないこともある。

(検討委員)

高等部は、横須賀総合高校で使用する教科書と合わせる考えはあるか。

(ろう学校調査委員)

高等部は、各教科担当が教科書展示会に行き、選択している。生徒の状況や実態によっては、横須賀総合高校と合わせることも難しい場合もある。

(検討委員)

ろう学校は、横須賀総合高校に比べゆっくりとした学習進度である。参考にするが、揃えることは難しい。

(検討委員)

集団の授業では、どのように教科書を使用しているのか。

(ろう学校調査委員)

集団の授業で使用することはない。集団になると学年が混合することが多い。同じ教科書を使用することは難しい。集団で学習する場合は、個別に作成した教材を使用している。

(3) 特別支援学級（小学校・中学校）

（検討委員）

小学校は国語と算数以外の教科は検定本を使っているということでのいいののか。

（小学校調査委員）

国語と算数以外に出ていたのは道徳と図工で、それ以外は検定本を使用している。または、教材を作るなどで対応している。

（検討委員）

資料に出ているものは、全校の支援級で使うのか。各学校から「これを使いたい」と出てきたものを集約したのか。

小学校調査委員

希望のある学校とない学校がある。複数校から同じ希望が出ているもの、一つの学校からたくさんの希望が出ているものもある。

（検討委員）

国語であれば「ステップアップ」、「ゆっくり学ぶ子」、だいたいこの2社である。国語の教科書はこの2つに集約されているということなのか。これは使いやすいということであるのだと思うが、そのような理解でいいののか。

（小学校調査委員）

こぼと出版と同成社が児童の発達段階に合っており使いやすい。また、生活に即しているという理由で選ばれていた。

（検討委員）

それぞれ何校ずつ、どのくらいの学校で使いたい希望があるのか。

（小学校調査委員）

総数はカウントできていない。

（検討委員）

支援級では国語と算数と図工と道徳だけ一般図書の採択希望が出ている。来年度から生活科の☆本が出てくるが、それを「使いたい」、「良さそうだな」などの声は出ていなかったか。

（小学校調査委員）

出ていなかった。

（検討委員）

国語、算数以外の教科も希望があればここに出てくるということか。

(小学校調査委員)

そうである。

(検討委員)

検定本を使う際、支援級で授業をするのか、交流級と一緒に授業をすることもあるのか。

(小学校調査委員)

その児童に合わせてであると思うが、使用する教科書が異なる場合は、個別に学習することが多い。

(検討委員)

検定本を使う意味として、支援級の児童が交流する通常の学級（以後「交流級」と表記する。）で社会を学ぶなら、検定本で学習するねらいがあるのか。

(小学校調査委員)

検定本で、一緒に学ぶ良さがあると考えます。

(検討委員)

小学校では国語と算数以外は検定本を使い、交流級でどうにか参加できるようにしてきた。中学校では、国語、算数以外でも生徒の発達に合わせた教科書が選ばれていることが資料を通して知った。中学校で生徒の実態を見た時に、交流級で学ぶことが難しい生徒が多いと感じる。教科書採択において、中学校は国語でと算数以外、どんな視点で選んでいるのかを聞きたい。

(中学校調査委員)

進路について、支援級の在籍の生徒の中にも公立高校や私立高校の受験を希望する生徒が増えており、全ての教科の授業を交流級で受けている生徒の数も増えている。その場合は、中学校で使用している教科書に基づいて授業をしていくことになる。

また、支援級で多くの時間を過ごしている生徒も障害の度合い等は異なるため、進路の状況も様々である。教科書もそれぞれにあったものを選ぶということが大事であり、この採択希望を見ている一般図書の採択希望もいろいろなものが出てきているという印象を持った。☆本だけでなく、幅広く、教員は教材に関してアンテナを高くして選ばなければならないと感じた。

(検討委員)

小学校では国語、算数以外は友だちとのコミュニケーションに重きを置いて、共に活動できるということを中心に考える教科であっても、中学校

では「自立」や「社会参加」という言葉がキーワードとしてとてもたくさん出ている。そうしたことをねらいとして、進学か自立かということで選んでいるのか。

(中学校調査委員)

「自立した生活をするために」という視点は一番大事にしている。教科書に関係なく、様々な面で生活自立という視点で指導している。

(検討委員)

この資料にあるものは中学校23校から挙がってきたもので、それをまとめた形であるのか。

(中学校調査委員)

そうである。

(検討委員)

国語は一般図書で3種類あるが、これは大体でよいが、1校から1冊挙がってくるのか、1冊の図書について複数の学校から希望が挙がってくるのか、どのような状況であるのか。

(中学校調査委員)

希望がないという学校も多い。偏って希望が出てきている状況である。

(検討委員)

それは数として、希望を出してくる学校は少ないということなのか。

(中学校調査委員)

そうである。あまり多くはない。

(検討委員)

一般図書の希望がない学校は、検定本を使用するという事なのか。

(中学校調査委員)

そうとも限らない。検定本を出してきている学校も3校ほどである。

(検討委員)

他の生徒と同じ教科書を使用しているということか。

(中学校調査委員)

支援級で多くの時間を過ごす生徒に関しては、他の教材を使用していることもある。

(検討委員)

教科書以外ということなのか。

(中学校調査委員)

教科書以外のものを使用するケースや教科書を使用するケースもある。

(検討委員)

一般図書か検定本かどちらかということであるはず。

(中学校調査委員)

教科書を使用する場合はそうなる。

(検討委員)

検定本を使用している生徒が多いという印象か。

(中学校調査委員)

そうである。

(検討委員)

数学のところで、「シグマベストシリーズ」が毎年、中学校から出てくるが、これは問題集に近いものだと思っている。教科書として扱うことはどうなのかといつも疑問に感じている。評価票では、「イラストが用いられている」や「文章題、図形問題など、いろいろな場面で応用できる」などの理由で使用したいとある。例えば、小学5年生、小学6年生のものであれば、小学校5年生の算数の検定本を使う、または、小学校6年生の検定本を使う、あるいは、☆本を使うなど、そのような方向で授業を組み立てる。「このようにしたらいいよ」などと、先輩の先生から話を聞いた、このような話題が先生たちの中で交わされていることはあるのか。教科書採択であるため、問題集を採択するより、教科書をうまく使おうという話が出ているのか。

(中学校調査委員)

そのような話も出るが、各校で生徒の状況に応じて選んでいる。教科書を使用した方がより知識が入る生徒もいれば、シグマベストのような問題集形式の方が良い生徒もおり、本当に様々である。どの教科書を選ぶにしてもイラストや挿絵、見開きページを基本としている、カラーユニバーサルデザインに配慮していることなどを考慮して選んでいる。その他、細かいところはそれぞれの生徒の状況を考慮して採択希望を出している状況である。

6 全体を通しての意見や感想

(検討委員)

教科書事務は本当に大変。現場の先生方がこれをやるのは本当に大変で

あることは理解している。そのような中で一人一人に合った教科書を先生方は一生懸命に探し、資料を作成していただいたと思う。

気になったところは、同じ教科書を複数の教科で採択する場合の総評である。国語、社会、算数で同じ教科書だとすると、その本の特徴は分かるが、教科においてどんな点がその子に合っているのかが分からない。これで了解とするわけであるが、子どもの状況についての記載が一行でもあると確信をもって「いいです」と言える。また、「この本のここがこの教科にあっている。」同じ本でも「この部分が社会科にあっている。」という記載があると、全ての資料に目を通す時に理解が進む。今後、時間的な余裕があるのであれば、このような記載をお願いしたい。

7 答申内容の原案決定

(部会長)

それでは、答申内容の原案決定を行うこととする。ただいまの審議を経て、この内容をもって採択検討委員会に報告したいと考えるが、よろしいか。

〔はい、という声あり〕

異議なしと認め、この内容をもって採択検討委員会に報告する。

8 閉 会

令和7年度使用教科用図書採択検討委員会（第2回）議事録

日時 令和6年（2024年）7月17日（水）16時35分～16時50分

場所 横須賀市教育研究所 第1研修室

1 開会

（事務局： ）

これより令和7年度使用教科用図書採択検討委員会をはじめます。この会議の議長は教科用図書採択検討委員会条例に基づき、委員長にお願いいたします。

2 資格確認

（委員長）

それでは、この会の資格確認を、事務局にお願いいたします。

（事務局： ）

本日は委員18名中16名の出席を得ていますので、教科用図書採択検討委員会条例第4条の規定に従い、本会議は成立しております。

3 答申内容の検討

（委員長）

次に、各専門部会の調査内容の報告をお願いします。

なお、本日審議する答申の内容については、中学校、高等学校、特別支援学校の順で審議することといたします。

（1）中学校

（委員長）

まずは、中学校部会の私からお伝えします。

本日の中学校専門部会で調査報告を基に審議いたしました。審議の結果を報告します。

慎重に検討した結果、

国語「光村図書出版」、国語（書写）「光村図書出版」、

社会（地理）「帝国書院」、社会（歴史）「帝国書院」、

社会（公民）「東京書籍」、「帝国書院」、社会（地図）「帝国書院」、

数学「学校図書」、理科「東京書籍」、音楽（一般）「教育芸術社」、

音楽（器楽）「教育芸術社」、美術「光村図書出版」、

保健体育「東京書籍」、
技術・家庭（技術分野）「東京書籍」、（家庭分野）「東京書籍」、
外国語（英語）「東京書籍」、道徳「あかつき教育図書」
と決定しました。以上です。

（ 委員長）

この調査結果についてご意見がありましたらお願いいたします。

[な し]

（ 委員長）

次に、高等学校について、 校長先生お願いします。

（2）高等学校

（ 部会長）

本日、高等学校の専門部会で調査報告を基に審議いたしました。審議の結果、この一覧表のとおり調査結果を報告します。

令和4年度より年次進行で、現行の学習指導要領に基づいた教育課程によって教育活動を行っております。そのため、令和4年度以降に入学した生徒が使用する教科書は、現行の学習指導要領に基づいて編集された教科書を使用しますが、令和3年度以前に入学した生徒については、従来の学習指導要領に基づいて編集された教科書を使用します。定時制においては、令和3年度以前に入学した生徒が、令和7年度に在籍する可能性がありますので、2つの学習指導要領に基づいて編集された教科書を使い分けることとなります。しかしながら、多くの科目においては、該当する教科書が発行されないことから、現行の学習指導要領に基づいて編集された教科書を選定しています。また、定時制の28番「書道Ⅰ」、番号308については、これまで採択していた教科書が発行されないことから、変更して選定しています。

審議した結果、お手元にあるとおりに決定しました。以上です。

（ 委員長）

この調査結果について何かご意見がありましたらお願いいたします。

[な し]

(委員長)

次に、特別支援教育について、 校長先生お願いします。

(3) 特別支援学校 (特別支援学級)

(部会長)

本日特別支援教育の専門部会で調査報告を基に審議いたしました。審議の結果、この一覧表のとおり調査結果を報告します。

特別支援教育におきましては、特別支援学校のろう学校と養護学校、小・中学校の特別支援学級があります。これらにつきましては、児童・生徒の実態に応じて教科書を選んでいきます。対象となる本は「検定本」、文部科学省で定めております「著作本」、学校教育法附則第9条で規定されている「一般図書」の三種類で、この中から採択することができます。

内容についてですが、

ろう学校 (高等部) 用検定本	46 冊
ろう学校用著作本	18 冊
養護学校用著作本	7 冊
小学校特別支援学級用著作本	5 冊
中学校特別支援学級用著作本	10 冊
ろう学校用附則9条本	21 冊
養護学校用附則9条本	147 冊
小学校特別支援学級用附則9条本	21 冊
中学校特別支援学級用附則9条本	36 冊

検定本については、小学校・中学校で採択されたものを使用いたします。以上です。

(委員長)

この調査結果についてご意見がありましたらお願いいたします。

[な し]

(委員長)

それでは、全体を通しまして、ご意見あるいはご感想を含めていかがでしょうか。 委員いかがでしょうか。

(委員)

保護者の立場で感想を述べさせていただきます。本当に真剣に、皆さんで教科書の内容などをしっかり検討して選んでいただいたことに、本当に感謝しております。今後は、保護者が教えるのではなくて、子どもたちから保護者も学ぶことが増えるのかなど、期待がもてるような環境を知ることができて良かったと思っております。

また、私個人も、もう大人になってしまったが、また、知識をアップデートして、学び直したいなと思える先生方のご意見も聞くことができ、大変貴重な体験でした。ありがとうございました。

(委員長)

ありがとうございました。中学校部会の 委員いかがでしょうか。

(委員)

私も子どもが中学生の時に、PTAの会長をしていましたが、それも10年くらい前になり、子どもの成長とともに、中学校の教科書からはずいぶん離れてしまっている状況でした。今回、すべての教科書を見させてもらって、絵やイラストがものすごく多くなっているなという実感です。

また、私から見れば甲乙つけがたい、どちらが選ばれてもいいのではないかなと思うところもありましたが、様々な視点で審議され、評価をされていて、先生方は精査されて考えられていることを感じられました。以上です。

(委員長)

ありがとうございました。

4 答申内容の決定

(委員長)

それでは、この調査結果を教育委員会への答申としてよろしいでしょうか。

【異議なし】

(委員長)

特に異議がないようですので、この内容を教育委員会に答申させていただきます。

あとは、事務局の方でお願いいたします。

5 閉会

(事務局：)

委員長、ありがとうございました。では最後に、教育委員会事務局を代表して、教育指導課長 よりご挨拶申し上げます。

(教育指導課長：)

熱心なご審議のうえ答申内容を決定していただきありがとうございました。

皆様の報告、またご意見等をうかがっておりまして、教育委員会事務局といたしましても、教育委員会に自信をもって提案できるものと考えております。

現在は、教師が教科書の内容を教え、子どもたちはただ静かにそれを聞いているという様な授業からの脱却が叫ばれており、今回皆様に調査していただいた教科書も、子どもたちが主体的に学習に取り組めるような工夫がなされていたかと思えます。

本市の子どもたちが、自らの学びを調整したり、あきらめずに粘り強く学ぼうとしたりすることを通じて、この変化が激しく、予測困難なこれからの時代においても通用する「確かな学力」を身に付けられるような教科書、という視点でご審議いただけたのではないかと考えております。

このようなことも含め、教育委員の皆様に報告をし、事務局としてもより良い教科書採択ができるよう最後まで努めてまいります。

改めまして、委員の皆様のご協力に感謝を申し上げます。本日はどうもありがとうございました。

(事務局：)

本日は長時間にわたり、ありがとうございました。なお、本日お持ちいただいた資料やお配りしたプリント類は回収させていただきます。机上に置いてお帰りください。

また、各専門部会でも確認されたと思いますが、皆様の任期は8月31日までとなっております。情報公開がされるまでは公正確保のため秘密扱いとなりますので、くれぐれもお気を付けください。

本日はありがとうございました。